

棚倉町国民健康保険

第3期国保データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画

【令和6年度～令和11年度】

令和6年4月



第3期国保データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 目次

I. 背景・目的	1
II. 計画の位置づけ	
III. 計画期間	
IV. 実施体制・関係者連携等	
V. 健康医療情報の分析	4
1. 棚倉町の特性	
(1)人口構成の推移	
(2)人口動態	
(3)世帯人員構成数	
(4)産業構造及び財政指数状況	
(5)死亡の状況	
(6)平均余命・平均自立期間	
(7)介護の状況	
(8)医療費及び疾病内訳	
2. 国民健康保険の健康医療の状況	13
(1)国保加入状況	
(2)医療の状況	
①受療形態別医療費等の状況	
②疾病別医療費内訳	
③生活習慣病患者の推移	
④80万円以上の高額疾病の内訳	
⑤6か月以上長期入院患者の疾病内訳	
⑥人工透析患者の状況	
(3)特定健診・保健指導の状況	
①特定健診受診率の状況	
②健診受診者と未受診者の生活習慣病にかかる医療費の状況	
③特定健診結果の状況	
④重症化予防対象者の状況	
⑤質問票の状況	
⑥特定保健指導の状況	
(4)多剤・重複処方、頻回・重複受診の状況	
①多剤薬剤処方の状況	
②重複服薬の状況	
③頻回受診の状況	
④重複受診の状況	
VI. 第2期データヘルス計画に係る評価と考察	34
1. 中長期目標の達成状況	
2. 短期目標の達成状況	
3. 個別保健事業実施計画の評価	

VII. 健康課題の明確化	38
1. 健康・医療情報等の分析結果に基づく健康課題の明確化	
2. 第2期データヘルス計画に係る考察	
3. 質的情報の分析及び地域資源の状況	
4. 健康課題解決のための優先順位	
VIII. 目的・目標の設定	40
1. 目的	
2. 目標	
(1)中長期目標	
(2)短期目標	
IX. 保健事業実施計画	42
X. 特定健康診査等実施計画	46
XI. 計画の評価・見直し	52
XII. 計画の公表・周知	
XIII. 個人情報の取扱い	
XIV. 地域包括ケアに係る取り組み	

留意事項

- ・特定健診・保健指導関連図表(P21～P31)の令和4年は暫定値。(令和5年6月6日時点抽出データ)
- ・特定健診・保健指導(P21～P31)の単年度の図表は令和3年データを使用。

I 背景・目的

(保健事業実施計画の背景)

○ 平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取り組みを行うことを推進する。」とされた。

○ 平成26年3月、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(以下「国指針」という。)において、市町村国保及び国民健康保険組合(以下「国保組合」といい、以下、両者を併せて「保険者」という。)は、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画(データヘルス計画)を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとした。

○ その後、平成30年4月から都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、保険者のデータヘルス計画の標準化等の取り組みの推進が掲げられ、令和4年12月に経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画改革工程表2022」において、「保険者が策定するデータヘルス計画の手引きの改訂等を行うとともに、当該計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPIの設定を推進する。」と示された。

○ このように、すべての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取り組みの推進や評価指標の設定の推進が進められている。

(棚倉町国保の保健事業の目的)

○ 当町においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資することを目的とする。

II. 計画の位置づけ

(データを活用したPDCAサイクルの遂行)

○ データヘルス計画とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査・特定保健指導の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿って運用するものである。

(他の法定計画等との調和)

○ 本計画は、健康増進法(平成14年法律第103号)に基づく基本方針を踏まえるとともに、都道府県健康増進計画、都道府県医療費適正化計画、介護保険事業(支援)計画、高齢者保健事業の実施計画(以下「広域連合のデータヘルス計画」という。)、国民健康保険運営方針、特定健康診査等実施計画と調和のとれたものとする必要がある。

○ その際、他計画の計画期間、目的、目標を把握し、データヘルス計画との関連事項・関連目標を確認するプロセスが重要である。また、他の計画における関連事項・関連目標を踏まえ、データヘルス計画において推進・強化する取組等について検討し、取組を実行していくうえで連携が必要となる関係者等に共有し、理解を図ることが重要である。

法定計画等の関連

	健康増進計画	保健事業実施計画 (データヘルス計画)	特定健診等実施計画	高齢者保健事業 の実施計画	介護保険事業 (支援)計画	医療費適正化計画	国民健康保険 運営方針
法律	健康増進法	国民健康保険法 健康保険法 高齢者の医療の確保に 関する法律	高齢者の医療の確保に 関する法律	高齢者の医療の確保に 関する法律	介護保険法	高齢者の医療の確保に 関する法律	国民健康保険法
計画期間	2024年 から2035年(12年)	2024年 から2029年(6年)	2024年 から2029年(6年)	2024年 から2029年(6年)	2024年 から2026年(3年)	2024年 から2029年(6年)	2024年 から2029年(6年)
計画策定	都道府県:義務 市町村:努力義務	保険者	保険者:義務	広域連合:義務	都道府県:義務 市町村:義務	都道府県:義務	都道府県:義務
概要	すべての国民が健やか で心豊かに生活できる 持続可能な社会の実現 に向け、誰一人取り残さ ない健康づくりの展開と より実効性をもつ取組の 推進を通じて、国民の 健康の増進の総合的な 推進を図る	健康・医療情報を活用 してPDCAサイクルに 沿った効果的かつ効率 的な保健事業の実施を 図る	保険者が特定健診・特 定保健指導の実施にあ たって、その規模、加入 者の年齢構成、保健事 業の体制・人材等のリ ソース、地域条件等 を考慮し、あらかじめ実 施率目標や実施方法 等を定めることで、事業 を効率的・効果的に実 施し、その実施状況の 評価ができるよう作成す る	健康・医療情報を活用 してPDCAサイクルに 沿った効果的かつ効率 的な高齢者保健事業の 実施を図る	2025年及び2040年に 向けて、地域の実情に 応じた介護給付等対象 サービスを提供する体 制の確保及び地域支援 事業の実施が計画的に 図られるようにする	制度の持続可能な運営 を確保するため、国と都 道府県が保険者・医療 関係者等の協力を得 て、住民の健康増進や 医療費の適正化を進め る	都道府県等が行う国民 健康保険の安定的な財 政運営並びに当該都道 府県内の市町村の国民 健康保険事業の広域的 及び効率的な運営の推 進を図る
対象者	すべての国民	国保被保険者	40歳から74歳の国保被 保険者	後期高齢者	1号:65歳以上の者 2号:40歳から64歳で特 定疾病を抱える者	すべての国民	国保被保険者
対象疾病	がん 脳血管疾患 虚血性心疾患 糖尿病 メタボリックシンドローム 内臓脂肪型肥満 慢性閉塞性肺疾患 ロコモティブシンドローム 骨粗鬆症 こころの健康 等	メタボリックシンドローム 内臓脂肪型肥満 糖尿病 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患 糖尿病性腎症	メタボリックシンドローム 内臓脂肪型肥満 糖尿病 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患 糖尿病性腎症	生活習慣病 加齢に伴う心身機能の 低下	要介護状態又は要介 護状態となることの予防 又は要介護状態等の軽 減若しくは悪化の防止 (生活習慣病等要介護 状態となりうる疾病)	メタボリックシンドローム 生活習慣病	
基本指針・ 理念・評価 目標	1. 健康寿命の延伸と 健康格差の縮小 2. 個人の行動と健康 状態の改善 (1)生活習慣の改善 (2)生活習慣病の発 症予防・重症化予防 (3)生活機能の維持・ 向上 3. 社会環境の質の向 上 (1)社会とのつながり こころの健康の維持及 び向上 (2)自然に健康にな れる環境づくり (3)誰もがアクセスで きる健康増進のための 基盤の整備 4. ライフコースアプ ローチを踏まえた健康づくり	健康・医療情報を活用 して費用対効果の観点 も考慮しつつ行う ・生活習慣の状況(食生 活、日常生活における 歩数、アルコール摂取 量、喫煙の有無等) ・健康診査等の受診率 及びその結果 ・医療費 等	1. 特定健診・特定保健 指導の実施率 2. メタボリックシンド ロームの該当者及び予 備群の減少率	健康・医療情報を活用 して費用対効果の観点 も考慮しつつ行う ・生活習慣の状況(体 重、食生活、日常生活 における身体活動等) ・健康診査等の受診率 及びその結果 ・医療費	1. 2025年・2040年を 見据えたサービス基 盤、人的基盤の整備 2. 地域共生社会の実 現 3. 介護予防・健康づく り施策の実現・推進(地域 支援事業等の効果的な 実施) 4. 有料老人ホームと サービス付き高齢者住 宅に係る都道府県・市 町村間の情報連携の強 化 5. 認知症施策推進大 綱を踏まえた認知症施 策の推進 6. 地域包括ケアシス テムを支える介護人材 確保及び業務効率化の取 組の強化 7. 災害や感染症対策 に係る体制整備	1. 住民の健康の保持 の推進に関する目標 (1)特定健康診査の実 施率 (2)特定保健指導の実 施率 (3)メタボリックシ ンドロームの該当者・予 備群の減少率 (4)たばこ対策 (5)予防接種 (6)生活習慣病等の重 症化予防の推進 (7)その他予防・健康 づくりの推進 2. 医療の効率的な提 供の推進に関する目標 (1)後発医薬品の使用 割合 (2)医薬品の適正使用 の推進	1. 国民健康保険の医 療に要する費用及び財 政の見直し 2. 市町村における保 険料の標準的な算出方 法に関する事項 3. 市町村における保 険料の徴収の適正な実 施に関する事項 4. 市町村における保 険給付の適正な実施に 関する事項
参考	国民の健康の増進の総 合的な推進を図るた めの基本的な方針	国民健康保険法に基 づく保健事業の実施等 に関する指針	特定健康診査等基本 指針	高齢者の医療の確保に 関する法律に基づく高 齢者保健事業の実施等 に関する指針	介護保険事業に係る保 険給付の円滑な実施を 確保するための基本的 な指針	医療費適正化に関する 施策についての基本的 な方針	都道府県国民健康保 険運営方針

Ⅲ. 計画期間

○ 計画期間は、福島県における医療費適正化計画や医療計画等が、令和6年度から11年度までを次期計画期間としているので、これらとの整合性を図るため、令和6年度(2024年)から令和11年度(2029年)までの6年間とする。

Ⅳ. 実施体制・関係者連携等

○ 当町は、被保険者の健康の保持増進を図り、病気の予防や早期回復を図るために、国保部局が中心となって、関係部局や関係機関の協力を得て、保険者の健康課題を分析し、計画を策定する。計画に基づき、効果的・効率的な保健事業を実施して、個別の保健事業の評価や計画の評価をし、必要に応じて、計画の見直しや次期計画に反映させる。具体的には、後期高齢者医療制度における保健事業を所管する高齢者医療部局、保健事業を主に所管する保健衛生部局、介護予防事業をはじめとする地域支援事業を所管する介護保険部局のほか、財政部局や企画部局、生活保護部局等とも十分に連携し、計画策定等を進める。

○ 計画期間を通じて、PDCAサイクルに沿った確実な計画運用ができるよう、担当者・チームの業務をマニュアル化する等により、担当者が異動する際には経過等を含めて確実に引継ぎを行う等の体制を整える。

○ 計画の策定等を進めるにあたっては、共同保険者である都道府県のほか、国保連合会や保健事業支援・評価委員会、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健医療関係者等、保険者協議会、後期高齢者医療広域連合、健康保険組合等の他の医療保険者、地域の医療機関や大学等の社会資源等と連携、協力する。

○ 計画は、被保険者の健康の保持増進が最終的な目的であり、その実効性を高めるうえでは、被保険者自身が健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたって、自らの健康状態を自覚するとともに、主体的・積極的に健康増進に取り組むことが重要である。

V. 健康医療情報の分析

1. 棚倉町の特性

(1) 人口構成の推移

- ・人口は12,856人(令和4年10月1日現在)である。平成30年人口と比べ894人減少している。
- ・人口構成割合をみると、老年人口が増加傾向にあり、年少、生産年齢人口割合が減少傾向にある。
- ・高齢化率は令和4年33.7%で、75歳以上の割合はその約半数を占めている。(表1、図1)

表1 人口及び人口構成の推移

	人口総数	人口構成							
		年少人口		生産年齢人口		老年人口		(再掲)75歳以上	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
平成30年	13,750	1,762	12.8%	7,722	56.2%	4,207	30.6%	2,230	16.2%
令和元年	13,551	1,686	12.4%	7,589	56.0%	4,217	31.1%	2,228	16.4%
令和02年	13,343	1,630	12.2%	7,372	55.2%	4,258	31.9%	2,201	16.5%
令和03年	13,101	1,558	11.9%	7,136	54.5%	4,324	33.0%	2,153	16.4%
令和04年	12,856	1,484	11.5%	6,959	54.1%	4,330	33.7%	2,174	16.9%
県 令和04年	1,790,362	195,798	10.9%	982,815	54.9%	577,815	32.3%	291,360	16.3%

※出典：福島県現住人口調査月報 平成30年～令和4年版(10月時点)

※年齢不明者は人口総数にのみ含めている。

図1 人口及び人口構成の推移



(2) 人口動態

- ・人口動態は、出生数が令和4年74人で、平成30年に比べ7人減少している。
- ・死亡数は令和4年237人で、平成30年に比べ22人増加している。
- ・社会動態は、転出が転入を上回っており、転入は平成30年と比べ51人減少している。令和4年は転出が転入を51人上回っている。
- ・人口増減率は-1.7%となっている。(表2)

表2 人口動態

	人口			自然動態			社会動態		圏域人口	県人口
	人数	増減数	増減率	出生	死亡	増減	転入	転出		
				人数	人数		人数	人数		
平成30年	13,722	-173	-1.3%	81	215	-134	459	498	-1.0%	-1.0%
令和元年	13,516	-206	-1.5%	83	197	-114	425	517	-0.8%	-1.0%
令和02年	13,312	-195	-1.5%	70	181	-111	386	470	-1.0%	-1.0%
令和03年	13,046	-266	-2.0%	65	186	-121	315	460	-1.2%	-1.2%
令和04年	12,832	-214	-1.7%	74	237	-163	408	459	-1.1%	-1.3%

※出典：福島県現住人口調査年報 平成30年～令和4年版

(3)世帯人員構成数

- ・一般世帯数は令和2年4,719世帯と平成22年に比べ増加している。令和2年の単身世帯の割合については平成22年に比べ4.6ポイント増加している。
- ・65歳以上単身世帯の割合は令和2年10.7%と経年的に増加傾向であるが、圏域に比し同程度であるが、県、国に比べ下回っている。高齢者夫婦世帯の割合も増加傾向がみられる。(表3)

表3 棚倉町の世帯人員構成

	一般 世帯数	(再掲)単身世帯		65歳以上単身世帯					高齢夫婦世帯※	
				65歳以上単身世帯		圏域	県	全国		
						割合	割合	割合		
	人数	人数	割合	人数	割合	割合	割合	割合	人数	割合
平成22年	4,696	986	21.0%	384	8.2%	7.3%	8.3%	9.2%	402	8.6%
平成27年	4,742	1,087	22.9%	438	9.2%	9.3%	10.6%	11.1%	501	10.6%
令和2年	4,719	1,210	25.6%	506	10.7%	10.7%	11.8%	12.1%	545	11.5%

※出典：国勢調査 <https://www.e-stat.go.jp>

※高齢夫婦世帯：夫65歳以上妻60歳以上の1組の一般世帯

(4)産業構造及び財政指数状況

- ・就業者は6,979人で、うち第1次産業就業者(農業等)は8.0%、第2次産業就業者(製造業等)は42.3%、第3次産業就業者(サービス業等)は49.7%と、約5割を第3次産業就業者が占めている。
- ・県、国と比較すると第1次産業及び第2次産業に住民の多くが従事している。(表4)

表4 棚倉町の産業構造

	就業者	第1次産業就業者		第2次産業就業者		第3次産業就業者		財政指数	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合		市町村平均
平成22年	7,432	439	5.9%	2,938	39.5%	3,402	45.8%	0.57	0.53
平成27年	7,507	765	10.2%	3,127	41.7%	3,587	47.8%	0.55	0.50
令和2年	6,979	557	8.0%	2,955	42.3%	3,467	49.7%	0.55	0.51
県	942,997	58,549	6.2%	279,147	29.6%	605,301	64.2%		
国	65,468,436	2,127,521	3.2%	15,317,297	23.4%	48,023,618	73.4%		

※出典：国勢調査 <https://www.e-stat.go.jp>

(5)死亡の状況

- ・死因別死亡率(人口10万人対)は、死亡総数で圏域、県、国比較すると高い傾向にある。
- ・死因別にみると、高い順に悪性新生物、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患となっている。
- ・心疾患の死亡率は経年的に増加傾向にあり、圏域、県、国を上回っている。(表5)
- ・男女別にみると男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が高い状況であり、いずれも県、国を上回っている。(図2、図3)
- ・福島県の早世死亡を死因別にみると、腎不全が国を上回っている。(表6、表7)

表5 死因別死亡率(人口10万対)

死亡総数	棚倉町						圏域	県	国
	平成29年		平成30年		令和元年				
	人数	率	人数	率	人数	率	率	率	率
	182	1307.2	216	1570.9	197	1453.8	1301.4	1365.6	1116.2
悪性新生物	44	316.0	65	472.7	49	361.6	308.8	340.4	304.2
気管・肺	9	64.6	8	58.2	5	36.9	54.0	66.2	60.9
胃	5	35.9	15	109.1	9	66.4	55.4	42.5	34.7
結腸	4	28.7	5	36.4	7	51.7	28.8	34.3	28.8
心疾患(高血圧性を除く)	28	201.1	29	210.9	49	361.6	238.3	218.5	167.9
急性心筋梗塞	7	50.3	9	65.5	8	59.0	61.2	45.7	25.5
不整脈及び伝導障害	4	28.7	3	21.8	7	51.7	38.1	36.5	25.3
心不全	15	107.7	10	72.7	25	184.5	88.5	83.6	69.2
脳血管疾患	21	150.8	29	210.9	17	125.5	123.1	122.0	86.1
脳内出血	8	57.5	10	72.7	3	22.1	29.5	31.9	26.5
脳梗塞	10	71.8	17	123.6	11	81.2	81.3	75.1	47.9
糖尿病	3	21.5	3	21.8	2	14.8	12.2	15.6	11.2
肺炎	14	100.6	18	130.9	15	110.7	102.2	86.7	77.2
慢性閉塞性肺疾患	4	28.7	0	0.0	1	7.4	13.7	17.3	14.4
誤嚥性肺炎	2	14.4	5	36.4	5	36.9	25.9	34.1	32.6
慢性腎不全	3	21.5	2	14.5	1	7.4	14.4	17.4	15.8
老衰	7	50.3	11	80.0	7	51.7	92.9	134.3	98.5

※保険者のみH29～R1。県・全国はR1

※出典:保険者-県 保健統計第13表2より抜粋

図2 男性死因別死亡率

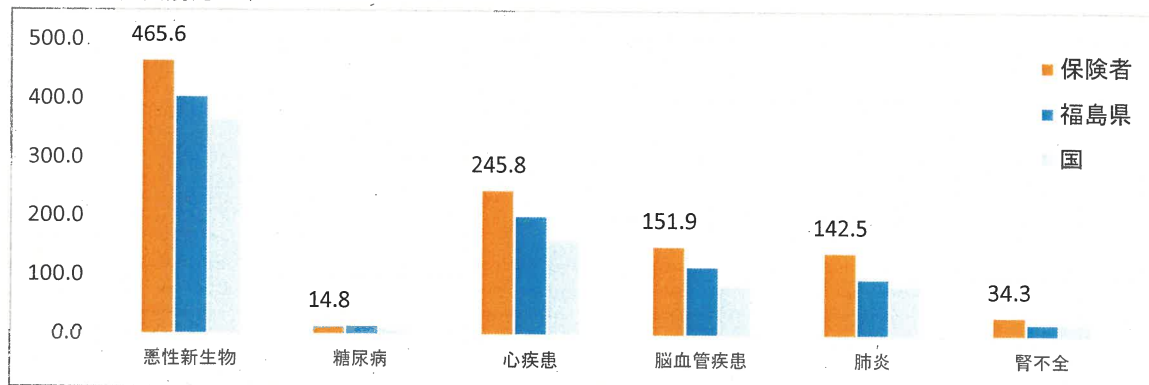
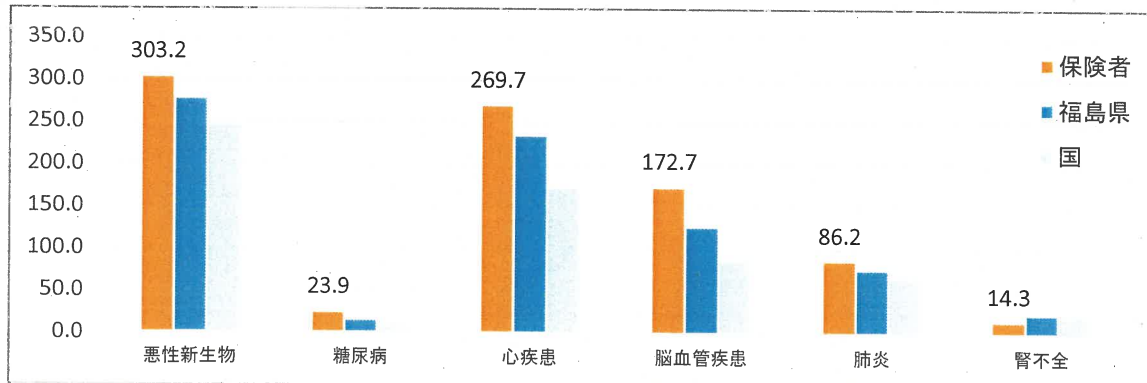


図3 女性死因別死亡率



※図2、図3は保険者のみH29～R01の平均。県・全国はR01

表6 主要死因別早世死亡の状況(全国)

全国			総数	悪性新生物	心疾患 (高血圧を除く)	脳血管疾患	腎不全	自殺
平成30年	死亡数		1,362,470	373,584	208,221	108,186	26,081	20,031
	65歳未満	死亡数	128,867	48,849	14,720	9,198	872	13,385
		割合	9.5%	13.1%	7.1%	8.5%	3.3%	66.8%
令和元年	死亡数		1,381,093	376,425	207,714	106,552	26,644	19,425
	65歳未満	死亡数	126,770	47,647	14,888	9,130	900	13,099
		割合	9.2%	12.7%	7.2%	8.6%	3.4%	67.4%
令和2年	死亡数		1,372,755	378,385	205,596	102,978	26,948	20,243
	65歳未満	死亡数	125,335	45,901	14,691	8,968	860	13,823
		割合	9.1%	12.1%	7.1%	8.7%	3.2%	68.3%

※出典：厚生労働省「性・年齢別にみた死因年次推移分類別死亡数及び率(人口10万対)」

表7 主要死因別早世死亡の状況(福島県)

福島県			総数	悪性新生物	心疾患 (高血圧を除く)	脳血管疾患	腎不全	自殺
平成30年	死亡数		24,747	6,263	4,052	2,246	455	364
	65歳未満	死亡数	2,310	851	293	167	22	239
		割合	9.3%	13.6%	7.2%	7.4%	4.8%	65.7%
令和元年	死亡数		25,004	6,233	4,000	2,233	419	333
	65歳未満	死亡数	2,273	792	290	159	17	222
		割合	9.1%	12.7%	7.3%	7.1%	4.1%	66.7%
令和2年	死亡数		24,515	6,259	3,839	2,164	457	357
	65歳未満	死亡数	2,121	777	249	175	27	216
		割合	8.7%	12.4%	6.5%	8.1%	5.9%	60.5%

※出典：H30～R2福島県「県勢要覧」、主要死因別(年齢別)死亡者数

(6) 平均余命・平均自立期間

- ・男性の平均余命は79.3歳で、国の81.7歳より2.4歳短い。
- ・女性の平均余命は86.5歳で、国の87.8歳より1.3歳短い。
- ・男性の平均自立期間は78.0歳であり、圏域、県、国を下回っている。
- ・女性の平均自立期間は83.2歳で、圏域、県、国を下回っている。
- ・不健康期間が男性は1.3年、女性は3.3年である。男性は、圏域、県、国に比べ不健康期間が短く、女性は圏域、国に比べ短くなっている。(表8)

表8 性別平均余命・平均自立期間(要介護2以上)

		棚倉町		県南医療圏		県		国	
		令和03年	令和04年	令和03年	令和04年	令和03年	令和04年	令和03年	令和04年
男性	平均余命(A)	78.7	79.3	80.5	80.9	80.3	80.7	81.5	81.7
	平均自立期間(B)	77.6	78.0	79.0	79.3	78.7	79.1	79.9	80.1
	不健康期間(A-B)	1.1	1.3	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
女性	平均余命(A)	86.7	86.5	87.1	87.9	86.7	86.9	87.5	87.8
	平均自立期間(B)	83.2	83.2	84.1	84.5	83.5	83.6	84.2	84.4
	不健康期間(A-B)	3.5	3.3	3.0	3.4	3.2	3.3	3.3	3.4

※抽出データ：KDB「健康スコアリング(保険者等一覧)」

(7)介護の状況

- ・1号被保険者における要介護認定者数は令和4年712人で平成30年と比較すると32人減少し、2号被保険者における要介護認定者数は2人減少している。
- ・要介護度別にみると、要介護3が多く、次いで要支援2となっている。(表9、図4)
- ・性年齢別介護認定状況をみると、64歳以下では男性は5人、女性は1人となっている。65歳以上では男性は230人、女性は589人で、男女とも要介護4が多くなっている。(表10、表11)
- ・有病状況としては、2号被保険者、1号被保険者ともに心臓病が最も割合が高い。(表12)
- ・国保及び後期高齢者医療における介護認定者の疾病併発状況は、男性ではその他の循環器系の疾患が最も高く、次いで、高血圧症、筋骨格系疾患等が、女性では高血圧症、筋骨格系疾患が同数で最も高く、次いで、その他の循環器系疾患となっている。男女とも上記3疾患が約7割を占めている。(表13、表14)
- ・介護給付費は令和4年で約13億円で、平成30年と比較すると約1.1億円増加しており、1件当たり介護給付費は77,585円で平成30年と比較し減少している。(表15、図5)

表9 要介護認定状況の推移

	2号被保険者	1号被保険者						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成30年	15	61	113	77	149	154	121	69
令和元年	12	58	120	80	156	150	115	76
令和02年	18	57	128	71	159	148	132	60
令和03年	11	42	115	74	147	145	138	86
令和04年	13	38	126	68	123	144	122	91

※抽出データ:KDB「要介護(支援)者有病状況」

図4 要介護認定状況の推移

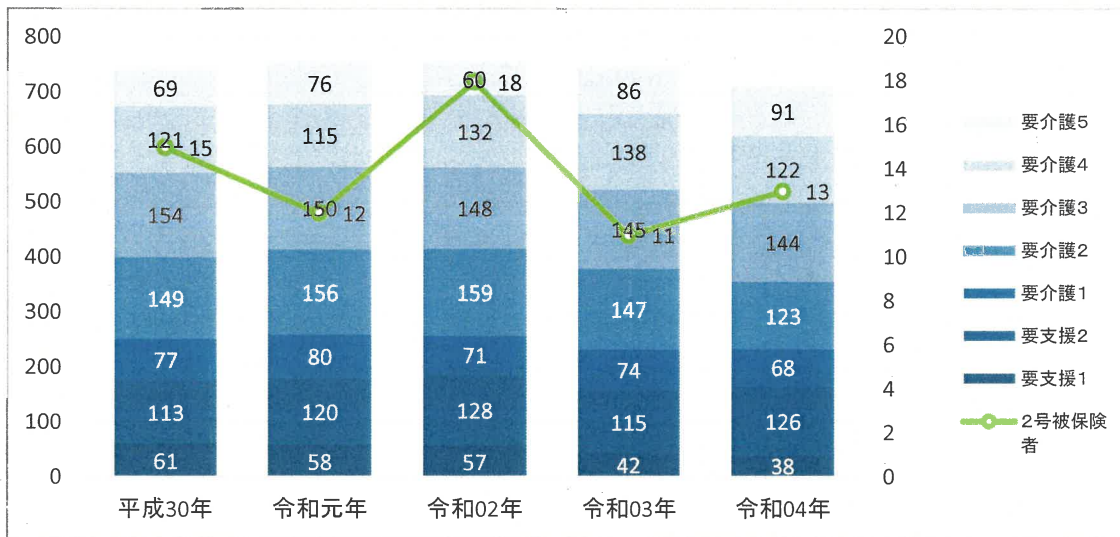


表10 (男性)年齢別介護認定状況

男性	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護認定者	
64歳以下	0	2	0	1	0	2	0	5	2.1%
65歳以上	14	41	19	37	39	45	35	230	97.9%
計 人数	14	43	19	38	39	47	35	235	100.0%
割合	6.0%	18.3%	8.1%	16.2%	16.6%	20.0%	14.9%	100.0%	

※抽出データ:令和4年度 KDB「介入支援管理」(国保及び後期高齢者医療のみ集計)

表11 (女性)年齢別介護認定状況

女性	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護認定者	
64歳以下	0	0	0	0	1	0	0	1	0.2%
65歳以上	26	86	49	99	117	126	86	589	99.8%
計 人数	26	86	49	99	118	126	86	590	100.0%
割合	4.4%	14.6%	8.3%	16.8%	20.0%	21.4%	14.6%	100.0%	

※抽出データ:令和4年度 KDB「介入支援管理」(国保及び後期高齢者医療のみ集計)

表12 要介護認定者の有病状況(令和4年度)

	2号 被保険者	1号被保険者						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
糖尿病	23.4%	23.3%	26.4%	20.1%	21.7%	17.9%	16.7%	14.5%
(再掲)糖尿病合併症	0.0%	3.4%	2.3%	3.1%	1.7%	0.1%	0.9%	0.2%
心臓病	37.6%	56.9%	67.3%	54.3%	59.3%	52.6%	49.1%	49.3%
脳疾患	24.8%	15.9%	18.4%	9.0%	17.3%	19.3%	20.1%	25.1%
がん	14.2%	10.6%	12.6%	6.5%	13.5%	6.6%	7.9%	8.2%
精神疾患	24.1%	20.0%	22.0%	33.0%	31.7%	37.5%	40.5%	50.1%
筋・骨疾患	21.3%	52.6%	67.1%	44.6%	49.9%	41.0%	38.3%	32.9%
難病	20.6%	1.7%	1.2%	1.2%	1.4%	1.9%	3.2%	2.7%
その他	46.8%	59.7%	69.2%	55.1%	57.7%	53.4%	47.4%	47.4%

※抽出データ:KDB「要介護(支援)者有病状況」

表13 (男性)介護認定者の疾病併発状況

男性		糖尿病	高血圧症	筋骨格系疾患等	認知症	その他の循環器系疾患	糖尿病性腎症	慢性腎不全	がん	COPD
要支援1	人数	3	10	13	2	10	0	0	6	5
	割合	21.4%	71.4%	92.9%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%	42.9%	35.7%
要支援2	人数	19	35	36	4	30	1	7	11	6
	割合	44.2%	81.4%	83.7%	9.3%	69.8%	2.3%	16.3%	25.6%	14.0%
要介護1	人数	8	10	12	8	11	0	3	4	6
	割合	42.1%	52.6%	63.2%	42.1%	57.9%	0.0%	15.8%	21.1%	31.6%
要介護2	人数	13	33	28	10	31	1	10	13	8
	割合	34.2%	86.8%	73.7%	26.3%	81.6%	2.6%	26.3%	34.2%	21.1%
要介護3	人数	14	27	22	14	28	0	3	8	8
	割合	35.9%	69.2%	56.4%	35.9%	71.8%	0.0%	7.7%	20.5%	20.5%
要介護4	人数	21	35	31	22	37	1	8	11	10
	割合	44.7%	74.5%	66.0%	46.8%	78.7%	2.1%	17.0%	23.4%	21.3%
要介護5	人数	8	19	24	17	29	0	5	9	11
	割合	22.9%	54.3%	68.6%	48.6%	82.9%	0.0%	14.3%	25.7%	31.4%
介護認定者	人数	86	169	166	77	176	3	36	62	54
	割合	36.6%	71.9%	70.6%	32.8%	74.9%	1.3%	15.3%	26.4%	23.0%

※抽出データ:令和4年度 KDB「介入支援管理」(国保及び後期高齢者医療のみ集計)

表14 (女性)介護認定者の疾病併発状況

女性		糖尿病	高血圧症	筋骨格系疾患等	認知症	その他の循環器系疾患	糖尿病性腎症	慢性腎不全	がん	COPD
要支援1	人数	12	21	22	3	16	2	1	3	4
	割合	46.2%	80.8%	84.6%	11.5%	61.5%	7.7%	3.8%	11.5%	15.4%
要支援2	人数	33	77	81	7	57	1	10	12	12
	割合	38.4%	89.5%	94.2%	8.1%	66.3%	1.2%	11.6%	14.0%	14.0%
要介護1	人数	15	40	38	26	29	2	6	4	5
	割合	30.6%	81.6%	77.6%	53.1%	59.2%	4.1%	12.2%	8.2%	10.2%
要介護2	人数	35	84	83	44	68	1	8	17	10
	割合	35.4%	84.8%	83.8%	44.4%	68.7%	1.0%	8.1%	17.2%	10.1%
要介護3	人数	31	94	93	68	76	1	7	10	17
	割合	26.3%	79.7%	78.8%	57.6%	64.4%	0.8%	5.9%	8.5%	14.4%
要介護4	人数	32	90	98	77	85	1	4	16	16
	割合	25.4%	71.4%	77.8%	61.1%	67.5%	0.8%	3.2%	12.7%	12.7%
要介護5	人数	18	63	54	61	58	2	5	9	15
	割合	20.9%	73.3%	62.8%	70.9%	67.4%	2.3%	5.8%	10.5%	17.4%
介護認定者	人数	176	469	469	286	389	10	41	71	79
	割合	29.8%	79.5%	79.5%	48.5%	65.9%	1.7%	6.9%	12.0%	13.4%

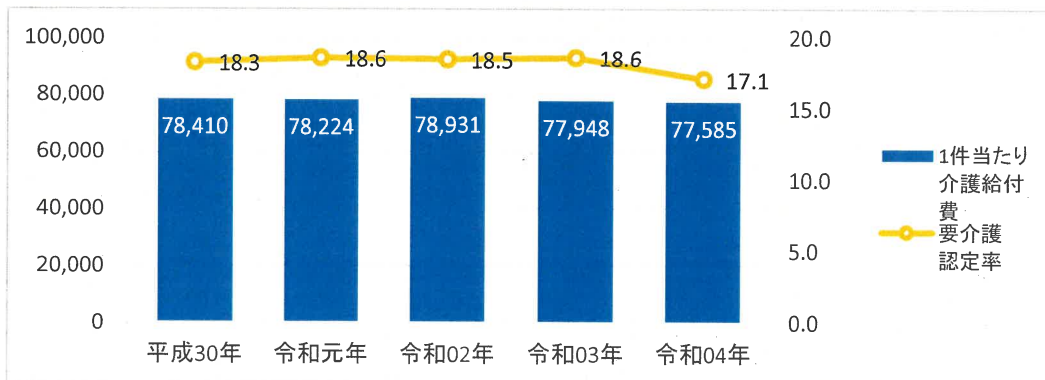
※抽出データ: 令和4年度 KDB「介入支援管理」(国保及び後期高齢者医療のみ集計)

表15 1件当たり介護給付費及び要介護認定率の推移

	介護総給付費	総件数	1件当たり介護給付費	要介護認定率
平成30年	1,183,832,416	15,098	78,410	18.3
令和元年	1,254,168,023	16,033	78,224	18.6
令和02年	1,297,464,216	16,438	78,931	18.5
令和03年	1,311,553,939	16,826	77,948	18.6
令和04年	1,299,079,827	16,744	77,585	17.1

※要介護認定率=要介護度1以上と認定された者の割合 ※抽出データ: KDB「地域の全体像の把握」

図5 1件当たり介護給付費及び要介護認定率の推移



(8)医療費及び疾病内訳

・国保年間医療費は約9.2億円、後期年間医療費は約16.2億円と平成30年と比較して国保は減少し、後期は増加している。国保1人当たり医療費は平成30年と比較して5,148円、後期も21,156円増加している。国保、後期ともに受診率が増加している。

・国保の受診率は839.63、後期高齢者医療の受診率は1225.07となっており、概ね国保は月0.8回、後期高齢者は月1.2回医療機関を受療しているとみなすことができる。(表16、図6)

・疾病別医療費割合では、国保で最も大きな割合を占めるのが新生物、後期高齢者医療では循環器系の疾患となっている。国保では新生物に次いで循環器系の疾患、内分泌、栄養及び代謝疾患、後期高齢者医療では循環器系の疾患に次いで尿路性器系の疾患、新生物となっている。

・疾病別の国保と後期高齢者医療の医療費比率で、最も高いのは尿路性器系の疾患2.9倍、次いで呼吸器系の疾患2.6倍、循環器系の疾患、筋骨格系疾患ともに2.4倍となっている。(表17)

・国保の人工透析では、平成30年と比較して人工透析患者数、医療費ともに減少している。後期の人工透析では、国保と比較して人工透析患者数が3.1倍、医療費が2.6倍増加している。(表18)

表16 国保総医療費及び後期総医療費の経年比較

	国保			後期		
	医療費	1人当たり医療費	受診率	医療費	1人当たり医療費	受診率
平成30年	1,005,134,470	324,900	813.27	1,608,717,750	694,560	1223.00
令和元年	960,306,370	321,156	819.38	1,671,193,400	723,828	1242.48
令和02年	1,025,864,300	350,316	768.48	1,559,358,530	682,404	1197.48
令和03年	1,076,478,120	373,728	825.80	1,524,213,130	676,380	1203.94
令和04年	919,606,530	330,048	839.63	1,628,430,280	715,716	1225.07

※医療費＝医科＋調剤＋歯科 ※抽出データ：KDB「健診医療介護からみる地域の健康課題」

図6 国保医療費及び後期医療費の経年比較

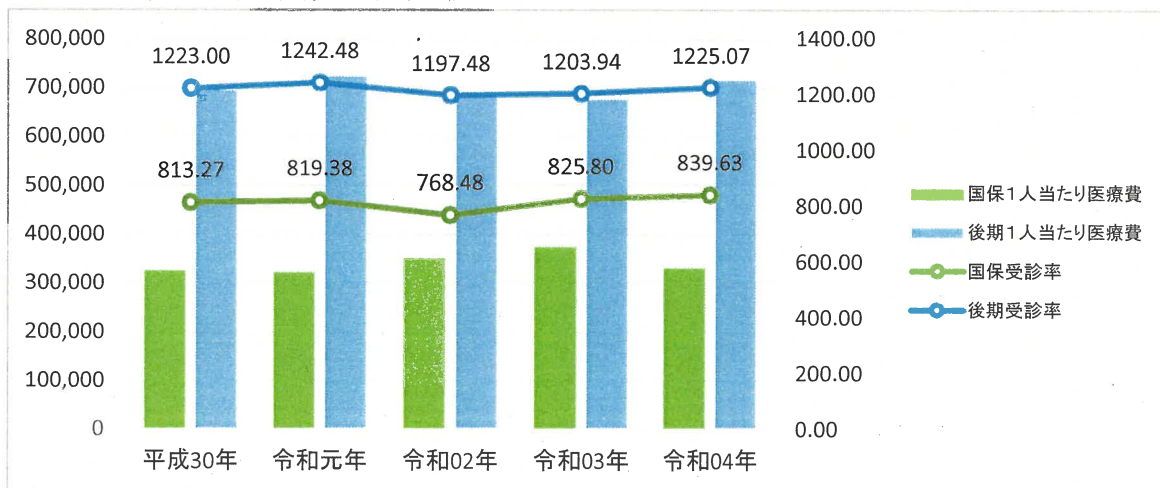


表17 棚倉町国保及び後期の疾病別医療費内訳(大分類)

	国保		後期		比率
	医療費(A)	割合	医療費(B)	割合	(B/A)
循環器系の疾患	127,218,890	14.8%	308,554,600	19.5%	2.4
内分泌、栄養及び代謝疾患	89,741,120	10.5%	99,727,750	6.3%	1.1
尿路性器系の疾患	67,261,160	7.8%	193,375,780	12.2%	2.9
新生物	178,600,380	20.8%	191,855,190	12.1%	1.1
精神及び行動の障害	58,044,100	6.8%	43,806,290	2.8%	0.8
筋骨格系及び結合組織の疾患	76,270,010	8.9%	180,771,700	11.4%	2.4
消化器系の疾患	50,561,010	5.9%	94,954,470	6.0%	1.9
呼吸器系の疾患	42,588,880	5.0%	111,806,860	7.1%	2.6
眼及び付属器の疾患	30,783,340	3.6%	55,132,760	3.5%	1.8
その他	136,203,840	15.9%	299,782,560	19.0%	2.2
計	857,272,730	100.0%	1,579,767,960	100.0%	1.8

※抽出データ:KDB「大分類」

表18 人工透析患者数及び人工透析医療費の推移

	国保		後期		比率
	実人数	医療費(A)	実人数	医療費(B)	(B/A)
平成30年	13	52,877,210	20	95,186,100	1.8
令和元年	8	41,136,490	26	96,326,950	2.3
令和02年	10	47,298,120	22	103,819,730	2.2
令和03年	8	42,231,850	28	115,413,250	2.7
令和04年	8	37,906,180	25	99,639,490	2.6

※抽出データ:【実人数】KDB「様式3-7」7月作成

【医療費】細小分類 各年累計一慢性腎不全(透析あり)の年間総医療費より算出

2. 国民健康保険の健康医療の状況

(1)国保加入状況

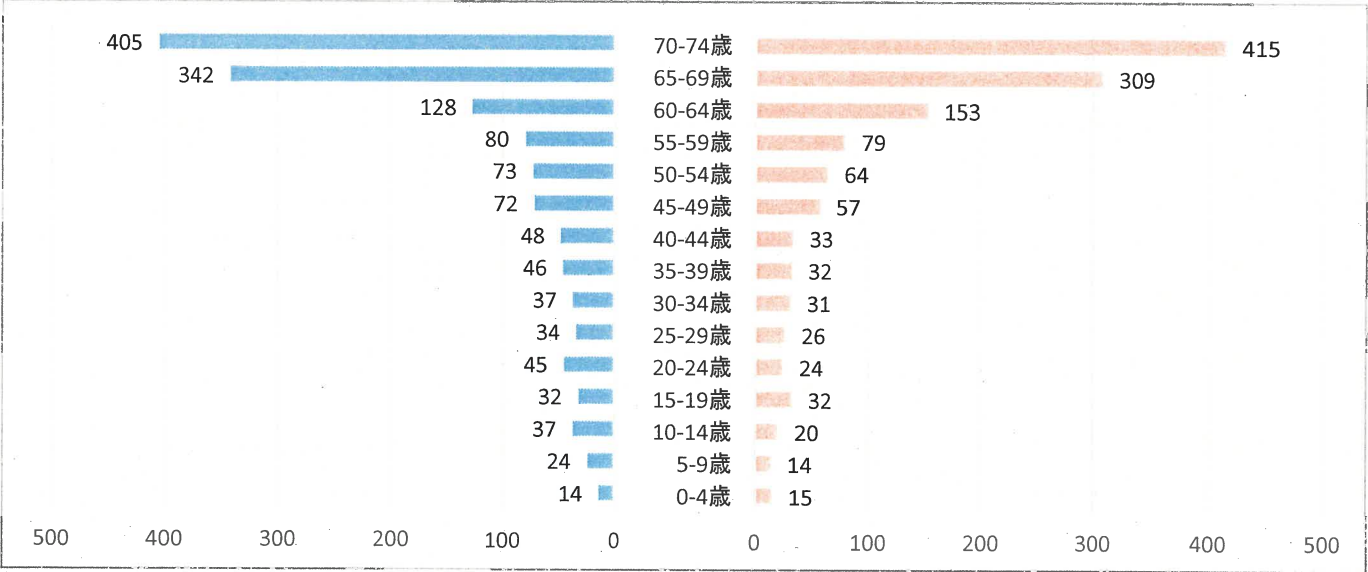
- ・国保人口は令和4年2,721人で、平成30年と比較して304人減少している。
- ・国保加入率は平成30年と比較して同数となっている。
- ・国保人口に占める前期高齢者の割合は54.1%である。(表19、図7)

表19 国保人口の推移及び加入率

	被保険者数			加入率	平均年齢
		前期高齢者	割合		
平成30年	3,025	1,419	46.9%	21.2	55.4
令和元年	2,931	1,410	48.1%	20.6	55.8
令和02年	2,910	1,480	50.9%	20.4	56.6
令和03年	2,840	1,533	54.0%	19.9	57.3
令和04年	2,721	1,471	54.1%	20.5	57.5
県 令和04年	381,897	191,020	50.0%	21.2	56.0

※抽出データ:KDB「人口及び被保険者の状況2」、「健診・医療・介護からみる地域の健康課題」

図7 国保人口構成(男女別・5歳刻み)



(2)医療の状況

①受療形態別医療費等の状況

- ・1件当たり医療費(入院+外来)は令和4年36,574円で平成30年と比較して45円減となっており、県、同規模、国を下回っている。
- ・入院1件当たり医療費は平成30年と比較し42,850円増加し、県、同規模、国を下回っている。
- ・外来・入院費用割合は61:39、外来・入院件数割合は97:3で平成30年と比較して横ばいとなっている。
- ・歯科の1件当たり医療費、歯科受診率とも県、同規模、国を下回っている。(表20、表21)
- ・性年齢別医療費の受診率は男女とも70-74歳が高く、1人当たり医療費は男女とも70-74歳が高く、男性では約52万円、女性では約34万円となっている。(表22、表23、図8)

表20 棚倉町入院・外来医療費の状況(経年推移)

	計		外来				入院			
	1件当たり医療費	H30年比	1件当たり医療費	H30年比	費用割合	件数割合	1件当たり医療費	H30年比	費用割合	件数割合
平成30年	36,619		21,030		55.6%	96.8%	502,590		44.4%	3.2%
令和元年	36,397	0.99	21,010	1.00	55.8%	96.7%	490,530	0.98	44.2%	3.3%
令和02年	42,409	1.16	22,580	1.07	51.5%	96.7%	623,540	1.24	48.5%	3.3%
令和03年	42,296	1.16	23,160	1.10	52.9%	96.6%	584,240	1.16	47.1%	3.4%
令和04年	36,574	1.00	22,990	1.09	61.2%	97.4%	545,440	1.09	38.8%	2.6%

※抽出データ:KDB「地域の全体像の把握」

表21 入院・外来医療費の状況

	1件当たり医療費				受診率(人口1,000人対)				1件当たり医療費順位	
	棚倉町	県	同規模	国	棚倉町	県	同規模	国	県内/59	同規模/147
外来+入院	36,574	37,940	41,970	39,080	702.89	756.47	730.30	705.44	47	124
外来	22,990	23,470	24,690	24,220	684.60	736.80	708.10	687.80		
入院	545,440	580,970	592,330	617,950	18.30	19.60	22.20	17.70		
歯科	13,140	13,320	13,650	13,350	136.74	151.23	148.11	161.45		

※抽出データ:KDB「地域の全体像の把握、同規模保険者比較」

表22 (男性)性年齢別医療費の状況

男性	被保険者数	レセプト件数	総医療費	割合	1人当たり医療費	受診率
40歳未満	269	1,483	33,786,080	6.1%	125,599	551.3
40歳代	120	671	27,314,850	5.0%	227,624	559.2
50歳代	153	1,243	62,330,670	11.3%	407,390	812.4
60歳代	470	5,228	218,477,550	39.6%	464,846	1,112.3
70-74歳	405	5,617	209,608,930	38.0%	517,553	1,386.9

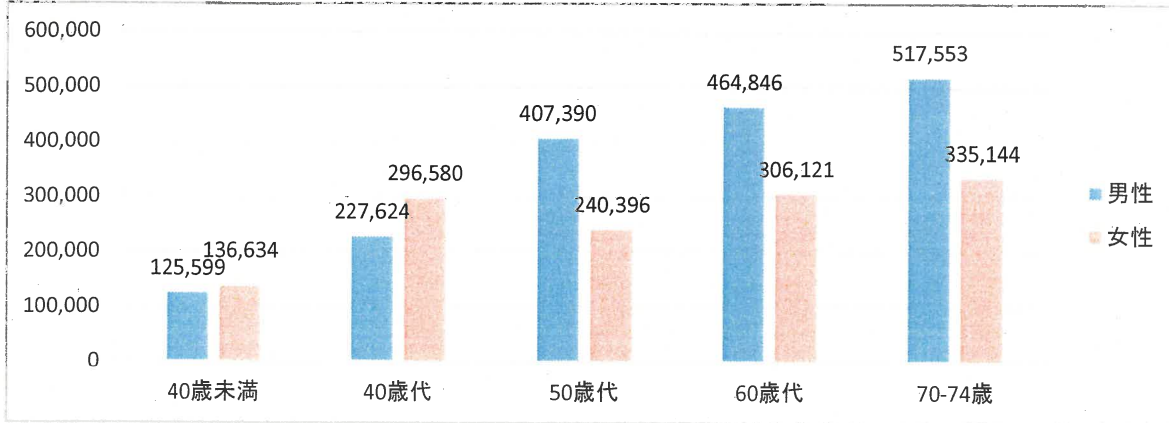
※抽出データ:KDB「医療の状況」

表23 (女性)性年齢別医療費の状況

女性	被保険者数	レセプト件数	総医療費	割合	1人当たり医療費	受診率
40歳未満	194	1,175	26,507,050	7.2%	136,634	605.7
40歳代	90	589	26,692,200	7.3%	296,580	654.4
50歳代	143	1,293	34,376,640	9.3%	240,396	904.2
60歳代	462	5,464	141,427,900	38.4%	306,121	1,182.7
70-74歳	415	5,310	139,084,660	37.8%	335,144	1,279.5

※抽出データ:KDB「医療の状況」

図8 性年齢別1人当たり医療費の状況(令和4年度)



②疾病別医療費内訳

- ・大分類医療費を疾病別にみると、新生物が約1.8億円と最も高額で割合も20.8%と高い。次いで循環器系の疾患、内分泌、栄養及び代謝疾患及び筋骨格系及び結合組織の疾患と続き、これら4疾患で医療費の約半数を占めている状況にある。また、上記4疾患いずれも県、同規模、国と比較して上回っている。(表24)
- ・生活習慣病疾病内訳をみると、循環器系の疾患は高血圧が約3割を占め、内分泌、栄養及び代謝疾患は糖尿病が約7割を占めており、県、同規模、国を上回っている。(表25、図9)
- ・性年齢別疾病別外来医療費は、男性で最も高額なのは腎不全で約3,532万円、次いで、糖尿病が約3,481万円となっている。女性で最も高額なのは糖尿病で約2,091万円、次いで高血圧性疾患が約1,593万円となっている。(表26、図10)
- ・性年齢別疾病別入院医療費は、男性で最も高額なのがその他の心疾患で約2,254万円、次いで虚血性心疾患が約1,102万円となっている。女性で最も高額なのが脳血管疾患で約718万円、次いで腎不全が約182万円となっている。(表27、図11)

表24 棚倉町国保の疾病別医療費内訳(大分類)

	医療費(A)	保険者	県	同規模	国
循環器系の疾患	127,218,890	14.8%	14.1%	14.2%	13.5%
内分泌、栄養及び代謝疾患	89,741,120	10.5%	10.1%	9.4%	9.0%
尿路性器系の疾患	67,261,160	7.8%	7.1%	8.1%	7.9%
新生物	178,600,380	20.8%	17.8%	17.3%	16.8%
精神及び行動の障害	58,044,100	6.8%	8.7%	8.2%	7.7%
筋骨格系及び結合組織の疾患	76,270,010	8.9%	8.3%	8.7%	8.7%
消化器系の疾患	50,561,010	5.9%	6.5%	6.0%	6.1%
呼吸器系の疾患	42,588,880	5.0%	5.1%	5.7%	6.2%
眼及び付属器の疾患	30,783,340	3.6%	4.2%	3.7%	4.0%
その他	136,203,840	15.9%	18.1%	18.8%	20.1%
計	857,272,730	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※抽出データ:KDB「大分類」

図9 医療費における生活習慣病疾病内訳(令和4年)

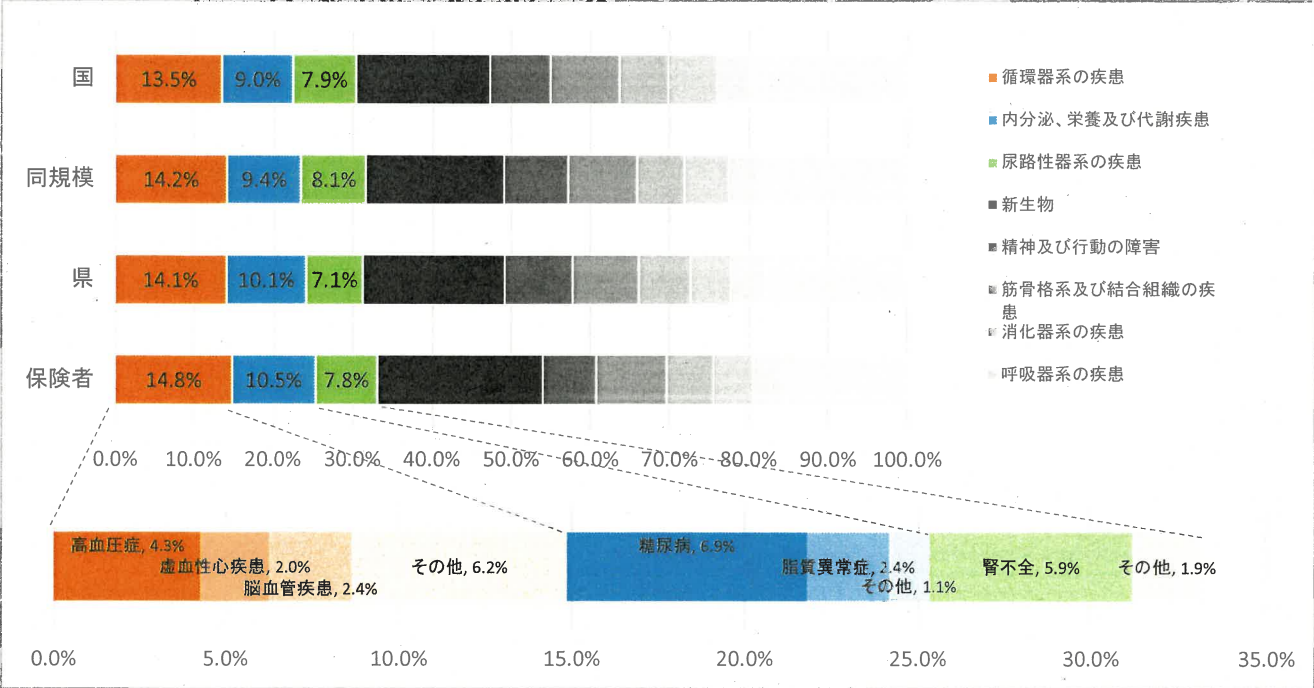


表25 医療費における生活習慣病疾病内訳抜粋(令和4年)

	保険者		県	同規模	国
	医療費	割合	割合	割合	割合
虚血性心疾患	16,769,570	2.0%	1.6%	1.6%	1.7%
脳血管疾患	20,667,620	2.4%	2.8%	2.7%	2.8%
腎不全	50,672,340	5.9%	5.1%	6.2%	5.9%
再掲 腎不全(透析あり)	37,906,180	4.4%	3.2%	4.2%	4.3%
糖尿病	59,579,380	6.9%	6.6%	6.2%	5.6%
高血圧症	36,660,520	4.3%	3.8%	3.6%	3.1%
脂質異常症	20,463,530	2.4%	2.4%	2.0%	2.1%
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	1,137,520	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%

※抽出データ:KDB「中分類」「細小分類」

表26 (外来)性年齢別疾病状況(中分類・医療費)抜粋(令和4年)

外来		高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	その他の心疾患	腎不全	慢性閉塞性肺疾患(COPD)
男性	64歳以下	4,280,210	9,235,220	2,093,810	760,440	436,660	3,184,910	31,620,820	0
	65歳以上	15,221,170	25,574,600	7,369,620	1,310,440	3,185,400	15,611,220	3,702,130	767,150
	計	19,501,380	34,809,820	9,463,430	2,070,880	3,622,060	18,796,130	35,322,950	767,150
女性	64歳以下	3,189,270	5,167,770	2,305,900	223,060	61,320	579,820	4,763,870	0
	65歳以上	12,742,650	15,744,560	8,670,620	654,790	1,316,060	5,931,940	112,100	15,560
	計	15,931,920	20,912,330	10,976,520	877,850	1,377,380	6,511,760	4,875,970	15,560

※抽出データ:KDB「中分類」「細小分類」

図10 (外来)性別疾病状況(中分類・医療費)抜粋

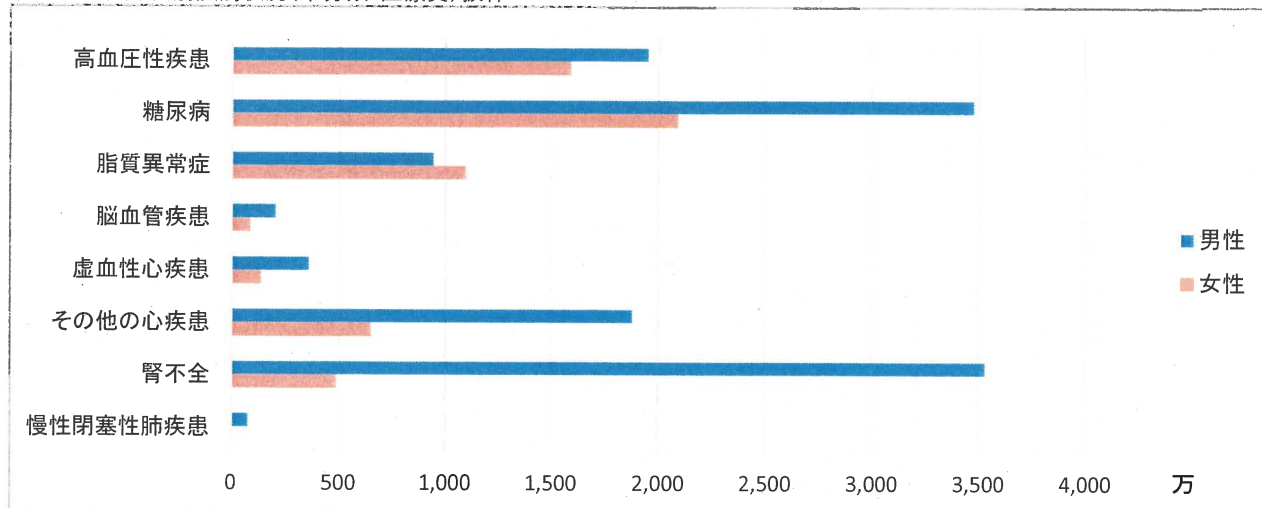
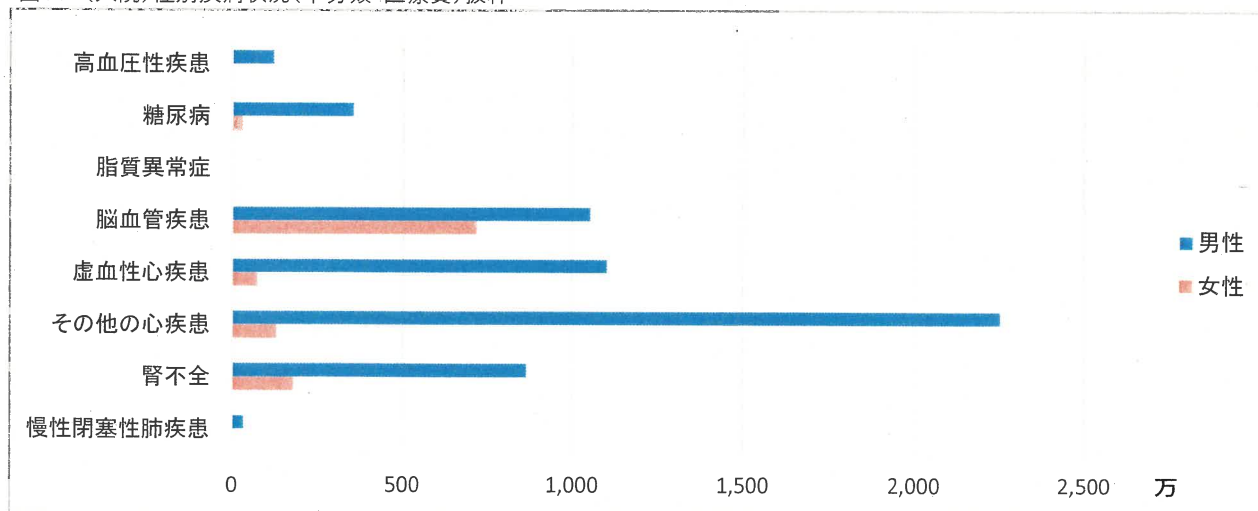


表27 (入院)性年齢別疾病状況(中分類・医療費)抜粋(令和4年)

入院		高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	その他の心疾患	腎不全	慢性閉塞性肺疾患(COPD)
男性	64歳以下	0	1,408,100	0	4,665,300	3,134,260	7,968,940	1,063,060	0
	65歳以上	1,227,180	2,140,170	23,580	5,869,200	7,888,690	14,566,550	7,593,430	354,810
	計	1,227,180	3,548,270	23,580	10,534,500	11,022,950	22,535,490	8,656,490	354,810
女性	64歳以下	0	0	0	120,750	0	0	0	0
	65歳以上	40	308,960	0	7,063,640	747,180	1,315,390	1,816,930	0
	計	40	308,960	0	7,184,390	747,180	1,315,390	1,816,930	0

※抽出データ:KDB「中分類」「細小分類」

図11 (入院)性別疾病状況(中分類・医療費)抜粋



③生活習慣病患者の推移

・生活習慣病患者数は令和4年1,175人で平成30年と比較し減少している。高血圧症の割合が最も高く、次いで脂質異常症、糖尿病となっている。(表28)

表28 生活習慣病患者数の推移

	生活習慣病 総数	脳血管 疾患	虚血性 心疾患	高血圧 症	糖尿病	インスリン 療法	糖尿病 性腎症	脂質 異常症
平成30年	1,267	112 8.8%	108 8.5%	771 60.9%	382 30.1%	41 3.2%	7 0.6%	530 41.8%
令和元年	1,211	110 9.1%	106 8.8%	732 60.4%	375 31.0%	38 3.1%	10 0.8%	520 42.9%
令和02年	1,095	99 9.0%	79 7.2%	630 57.5%	316 28.9%	37 3.4%	6 0.5%	441 40.3%
令和03年	1,181	104 8.8%	91 7.7%	696 58.9%	340 28.8%	35 3.0%	6 0.5%	479 40.6%
令和04年	1,175	100 8.5%	93 7.9%	710 60.4%	346 29.4%	29 2.5%	3 0.3%	484 41.2%

※抽出データ:KDB「様式3-1」

④80万円以上の高額疾病の内訳(令和04年4月～令和05年3月診療分)

・令和4年80万円以上の高額レセプトの状況は、悪性新生物の総件数に占める割合が48.9%と最も高く、次いで脳血管疾患、虚血性心疾患となっている。また、費用額に占める割合についても、悪性新生物が48.4%と最も割合が高く、次いでその他の心疾患となっている。(表29)

表29 レセプト1件80万円以上の状況

	脳血管疾患	虚血性心疾患	その他の心疾患	腎不全	悪性新生物	その他	総数
実人数	8	9	7	2	33	32	91
総件数	9	9	7	3	69	44	141
(割合)	6.4%	6.4%	5.0%	2.1%	48.9%	31.2%	100.0%
40歳未満	0	0	0	0	0	1	1
40歳代	1	1	0	0	1	4	7
50歳代	0	1	0	0	6	2	9
60歳代	6	2	5	2	27	23	65
70～74歳	2	5	2	1	35	14	59
費用額(円)	10,726,370	10,499,550	19,313,710	5,265,360	88,948,270	49,001,170	183,754,430
(割合)	5.8%	5.7%	10.5%	2.9%	48.4%	26.7%	100.0%

※抽出データ:KDB「様式1-1」

⑤6か月以上長期入院患者の疾病内訳(平成30年～令和04年の5月診療分より抽出)

・令和4年6か月以上の長期入院患者は13人で、平成30年より5か年で延べ68人となっている。疾病別の割合でみると、統合失調症が高くなっている。(表30)

表30 長期入院患者(6か月以上)の状況

	長期入院人数	脳血管疾患	その他の心疾患	腎不全	アルツハイマー病	血管性等の認知症	統合失調症	てんかん	脳性麻痺等	その他
計	68	5	0	4	0	0	31	1	0	27
	100.0%	7.4%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	45.6%	1.5%	0.0%	39.7%
平成30年	14	1	0	2	0	0	6	0	0	5
令和元年	14	1	0	0	0	0	9	0	0	4
令和02年	13	1	0	1	0	0	6	0	0	5
令和03年	14	2	0	1	0	0	6	0	0	5
令和04年	13	0	0	0	0	0	4	1	0	8
基礎疾患										
高血圧症	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1
糖尿病	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
脂質異常症	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2
虚血性心疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳血管疾患	3	0	0	0	0	0	1	1	0	1

※抽出データ:KDB「様式2-1」7月作成分

※基礎疾患は令和4年度のみ集計

⑥人工透析患者の状況(平成30年～令和4年の5月診療分より抽出)

・人工透析患者は令和4年8人で、男性6人、女性2人となっている。平成30年と比較して5人が減少しており、男性は65歳未満が10割を占めている。(表31、図12)

・人工透析費用は平成30年と比較すると約1,500万円減少している。(表32、図13)

・人工透析患者の生活習慣病併発状況は、うち約6割が糖尿病を併発し、脳血管疾患は約3割、虚血性心疾患は約1割が併発している。(表33、図14)

表31 人工透析患者数の推移

	実人数	男性			女性		
		40歳未満	40-64歳	65-74歳	40歳未満	40-64歳	65-74歳
平成30年	13	0	9	0	0	3	1
令和元年	8	0	7	0	0	1	0
令和02年	10	1	6	0	0	2	1
令和03年	8	1	5	0	0	1	1
令和04年	8	1	5	0	0	1	1

※抽出データ:KDB「様式3-7」7月作成

図12 人工透析患者数の推移

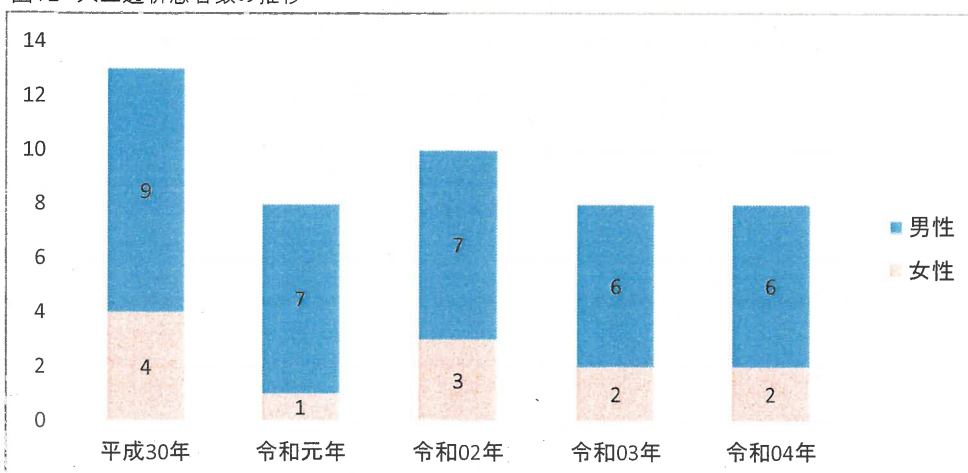


表32 人工透析(慢性腎不全)の年間医療費及び件数の推移(入院・外来)

	総額(円)	外来		入院	
		総額(円)	件数	総額(円)	件数
平成30年	52,877,210	39,897,540	94	12,979,670	15
令和元年	41,136,490	32,447,870	78	8,688,620	14
令和02年	47,298,120	31,103,250	77	16,194,870	22
令和03年	42,231,850	26,071,360	64	16,160,490	19
令和04年	37,906,180	35,267,460	87	2,638,720	6

※抽出データ:細小分類 各年累計ー慢性腎不全(透析あり)の年間総医療費より算出

図13 人工透析(慢性腎不全)の年間医療費及び件数の推移(入院・外来)

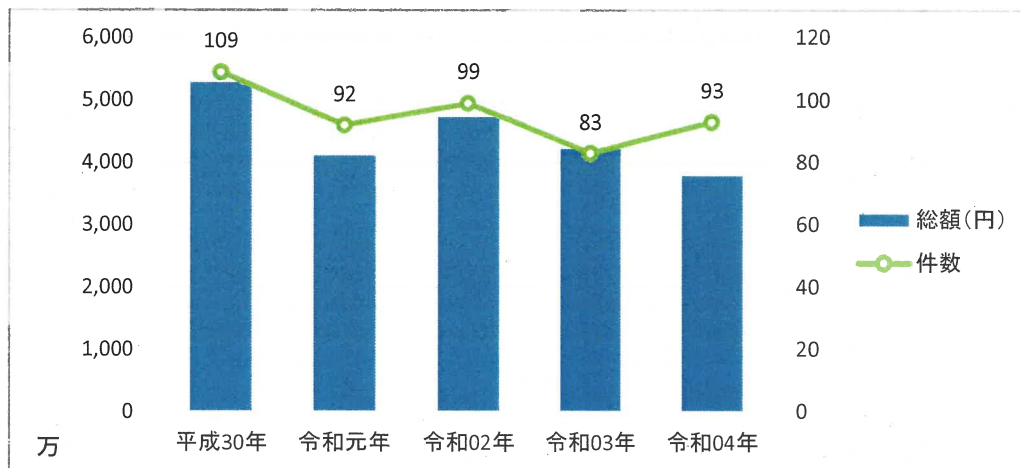
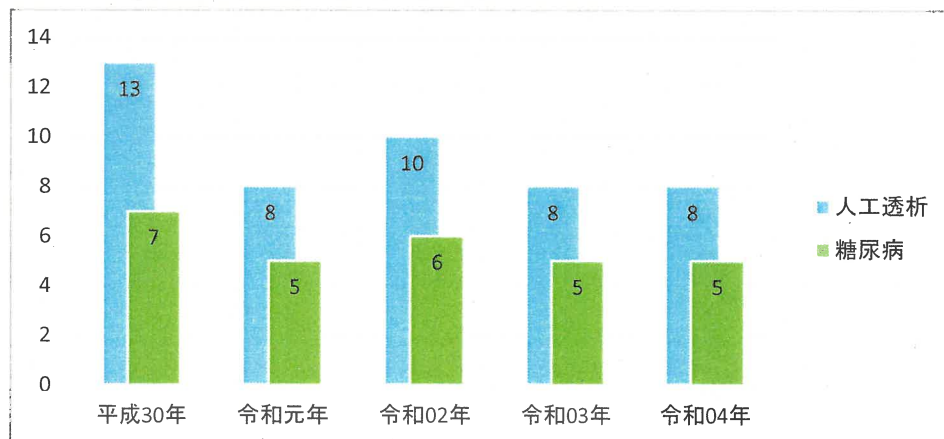


表33 人工透析患者の合併症の推移

	人工透析	糖尿病		虚血性心疾患		脳血管疾患	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合
平成30年	13	7	53.8%	3	23.1%	8	61.5%
令和元年	8	5	62.5%	3	37.5%	5	62.5%
令和02年	10	6	60.0%	3	30.0%	4	40.0%
令和03年	8	5	62.5%	1	12.5%	4	50.0%
令和04年	8	5	62.5%	1	12.5%	2	25.0%

※抽出データ:KDB「様式3-7」7月作成

図14 人工透析患者の糖尿病罹患状況の推移



(3)特定健診・保健指導の状況

①特定健診受診率の状況

・令和3年の健診対象者2,169人のうち受診したのは1,118人で受診率は51.5%である。県内順位は24位で、県、同規模、国を上回っている。男女別では男性受診率が48.2%、女性受診率は55.1%と女性の受診率が6.9ポイント高い。男性では50-54歳の健診受診率が低く、70-74歳の健診受診率が高くなっている。女性では55-59歳の健診受診率が低く、65-69歳の受診率が高くなっている。(表34、図15、表35、図16)

・過去3年間の受診状況をみると、連続受診者は男性24.4%、女性28.1%、不定期受診者は男性24.3%、女性29.6%となっている。連続受診が最も多かった年齢は男女ともに70-74歳で、不定期受診が最も多かった年齢は65-69歳である。(表36)

表34 特定健診受診率の推移

	保険者				県	同規模	国
	健診対象者	受診者数	受診率	順位			
平成30年	2,267	1,183	52.2%	県内20位	42.7%	45.1%	37.5%
令和元年	2,210	1,162	52.6%	県内18位	43.3%	46.0%	37.7%
令和02年	2,212	969	43.8%	県内27位	37.8%	40.7%	33.5%
令和03年	2,169	1,118	51.5%	県内24位	42.3%	44.0%	36.1%
令和04年	2,056	1,100	53.5%	県内15位	42.9%	43.8%	35.3%

※抽出データ:KDB「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

図15 特定健診受診率の推移

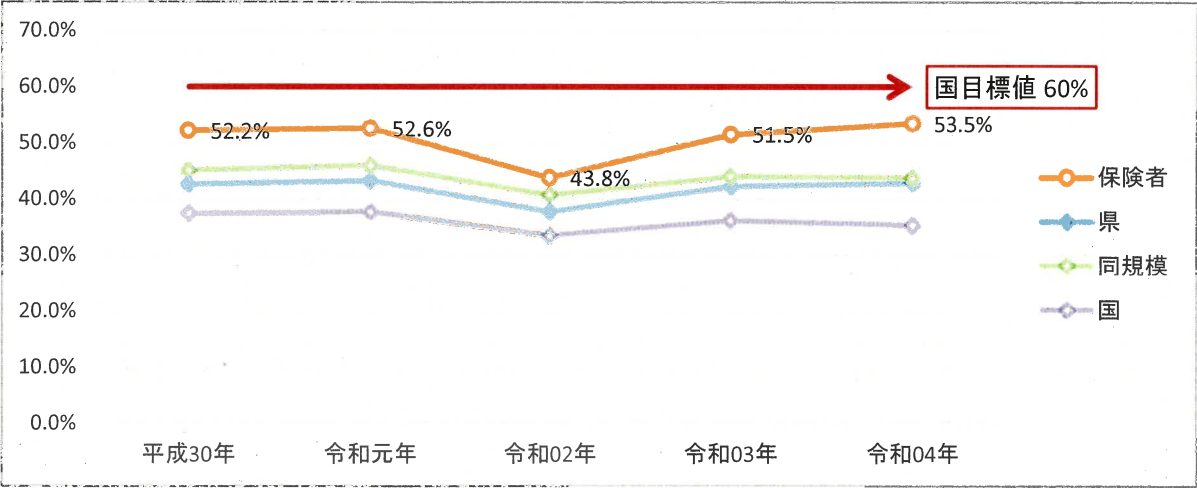


表35 年齢階層別受診率状況(令和3年度)

	男性			女性		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
40-44歳	45	16	35.6%	24	10	41.7%
45-49歳	65	20	30.8%	57	23	40.4%
50-54歳	65	17	26.2%	63	30	47.6%
55-59歳	72	28	38.9%	65	26	40.0%
60-64歳	120	38	31.7%	145	70	48.3%
65-69歳	331	180	54.4%	309	187	60.5%
70-74歳	419	239	57.0%	389	234	60.2%
計	1,117	538	48.2%	1,052	580	55.1%

※抽出データ:KDB「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

図16 年齢階層別受診率状況(令和3年度)

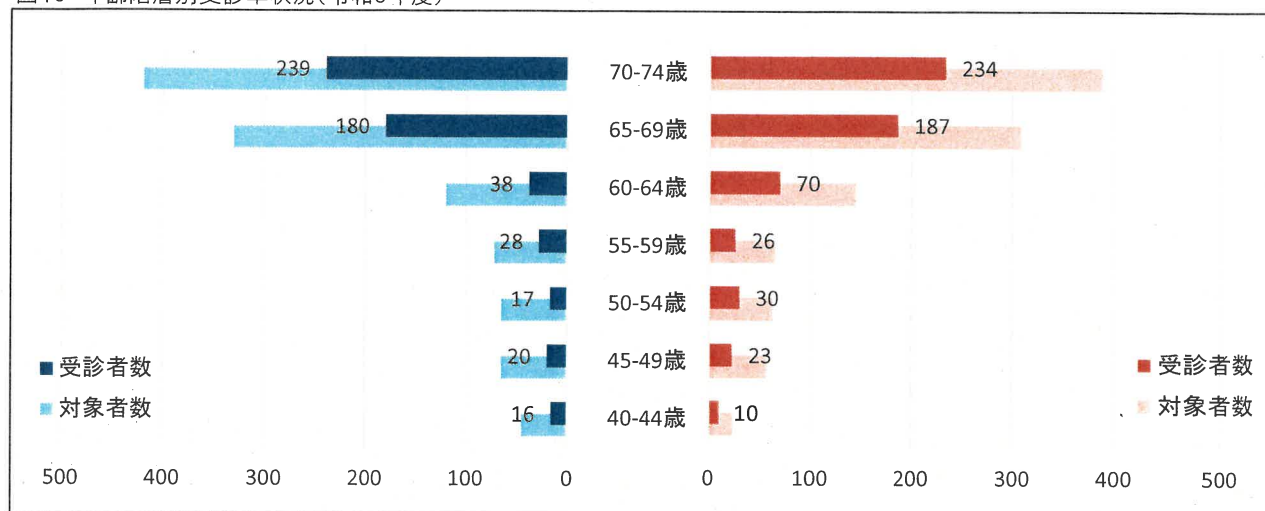


表36 健診受診状況(過去3年間の健診受診者について受診状況)

	男性						女性					
	連続受診		不定期		未受診		連続受診		不定期		未受診	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40-44歳	6	9.8%	12	19.7%	43	70.5%	2	4.8%	15	35.7%	25	59.5%
45-49歳	11	13.1%	17	20.2%	56	66.7%	13	17.8%	17	23.3%	43	58.9%
50-54歳	8	10.0%	16	20.0%	56	70.0%	13	15.3%	28	32.9%	44	51.8%
55-59歳	16	15.7%	21	20.6%	65	63.7%	13	13.8%	22	23.4%	59	62.8%
60-64歳	23	14.3%	26	16.1%	112	69.6%	33	18.0%	61	33.3%	89	48.6%
65-69歳	100	24.5%	120	29.4%	188	46.1%	102	27.8%	133	36.2%	132	36.0%
70-74歳	168	36.2%	118	25.4%	178	38.4%	179	42.5%	98	23.3%	144	34.2%
計	332	24.4%	330	24.3%	698	51.3%	355	28.1%	374	29.6%	536	42.4%

※抽出データ:令和元年～令和3年度 KDB「介入支援管理」

②健診受診者と未受診者の生活習慣病にかかる医療費の状況

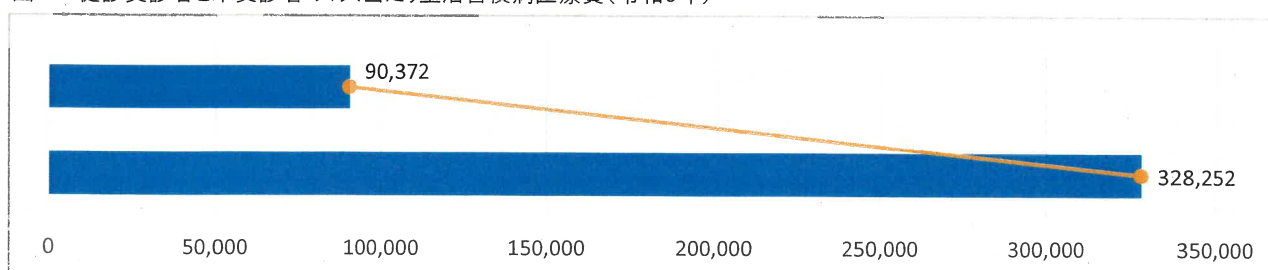
・令和3年の健診未受診者1人当たり生活習慣病医療費は約33万円で、健診受診者は約9万円で約3.6倍の差がみられる。(表37、図17)

表37 健診受診者と未受診者の1人当たり生活習慣病医療費の推移

	健診未受診			健診受診		
	未受診者数	生活習慣病総医療費(円)		受診者数	生活習慣病総医療費(円)	
		総額	1人当たり		総額	1人当たり
平成30年	1,084	298,905,770	275,743	1,183	115,031,430	97,237
令和元年	1,048	311,461,900	297,196	1,162	73,097,000	62,906
令和02年	1,243	374,801,940	301,530	969	31,480,010	32,487
令和03年	1,051	344,992,620	328,252	1,118	101,035,560	90,372
令和04年	956	276,782,320	289,521	1,100	82,293,340	74,812

※抽出データ:KDB「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

図17 健診受診者と未受診者の1人当たり生活習慣病医療費(令和3年)



③特定健診結果の状況

- ・男女別の有所見者状況は、平成30年と比較するとBMI25以上の割合では、男女とも減少している。男女ともに約3人に1人が肥満である。男女ともにALT、HDL-C、尿酸、収縮期血圧、心電図、男性では中性脂肪、LDL-C、クレアチニン、女性では空腹時血糖の有所見割合が平成30年と比較して増加している。（表38、表39）
- ・有所見者状況（血管を傷つける）を県、国と比較して、男女とも尿酸、収縮期血圧の割合が高く、女性では空腹時血糖、HbA1cの割合が高く、臓器障害のクレアチニンは男性に高い状況である。（表40、表41）
- ・メタボの該当者及び予備群の状況は、予備群該当者は高血圧の割合が高く、メタボ該当者は男女とも血圧＋脂質を重複している割合が高い状況である。（表42、表43、表44）

表38 健診受診者の有所見者状況の推移(男性)

男性		摂取エネルギーの過剰					血管を傷つける					メタボ以外の動脈硬化要因	臓器障害	
		BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL-C	空腹時血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	クレアチニン	心電図
		25以上	85以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上	
平成30年	人数	211	312	139	97	42	265	334	53	314	129	246	13	52
	割合	37.0%	54.7%	24.4%	17.0%	7.4%	46.5%	58.6%	9.3%	55.1%	22.6%	43.2%	2.3%	9.1%
令和元年	人数	213	287	133	118	50	258	360	49	313	143	235	16	53
	割合	38.7%	52.2%	24.2%	21.5%	9.1%	46.9%	65.5%	8.9%	56.9%	26.0%	42.7%	2.9%	9.6%
令和2年	人数	179	245	124	118	40	232	271	49	342	142	180	9	98
	割合	38.4%	52.6%	26.6%	25.3%	8.6%	49.8%	58.2%	10.5%	73.4%	30.5%	38.6%	1.9%	21.0%
令和3年	人数	198	324	139	117	50	234	298	71	304	112	244	18	127
	割合	36.8%	60.2%	25.8%	21.7%	9.3%	43.5%	55.4%	13.2%	56.5%	20.8%	45.4%	3.3%	23.6%
令和4年	人数	199	326	125	82	71	201	329	78	288	92	183	17	127
	割合	37.3%	61.2%	23.5%	15.4%	13.3%	37.7%	61.7%	14.6%	54.0%	17.3%	34.3%	3.2%	23.8%

※抽出データ:KDB「様式5-2」

表39 健診受診者の有所見者状況の推移(女性)

女性		摂取エネルギーの過剰					血管を傷つける					メタボ以外の動脈硬化要因	臓器障害	
		BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL-C	空腹時血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	クレアチニン	心電図
		25以上	90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上	
平成30年	人数	183	120	96	36	11	205	382	7	300	105	332	2	41
	割合	29.9%	19.6%	15.7%	5.9%	1.8%	33.4%	62.3%	1.1%	48.9%	17.1%	54.2%	0.3%	6.7%
令和元年	人数	182	120	78	48	14	192	424	5	291	102	308	0	32
	割合	29.7%	19.6%	12.7%	7.8%	2.3%	31.4%	69.3%	0.8%	47.5%	16.7%	50.3%	0.0%	5.2%
令和2年	人数	136	112	82	45	7	188	307	8	306	103	247	0	85
	割合	27.0%	22.3%	16.3%	8.9%	1.4%	37.4%	61.0%	1.6%	60.8%	20.5%	49.1%	0.0%	16.9%
令和3年	人数	156	147	89	42	13	199	349	12	314	83	304	1	88
	割合	26.9%	25.3%	15.3%	7.2%	2.2%	34.3%	60.2%	2.1%	54.1%	14.3%	52.4%	0.2%	15.2%
令和4年	人数	153	137	80	36	15	158	374	10	290	80	267	1	89
	割合	27.0%	24.2%	14.1%	6.3%	2.6%	27.9%	66.0%	1.8%	51.1%	14.1%	47.1%	0.2%	15.7%

※抽出データ:KDB「様式5-2」

表40 健診受診者の有所見者状況(年齢階層別・男性)

男性		摂取エネルギーの過剰					血管を傷つける					メタボ以外の 動脈硬化要因	臓器障害	
		BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL-C	空腹時血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	クレアチニン	心電図
		25以上	85以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上	
40-64歳	人数	49	75	38	41	14	40	45	26	49	40	64	2	21
	割合	41.2%	63.0%	31.9%	34.5%	11.8%	33.6%	37.8%	21.8%	41.2%	33.6%	53.8%	1.7%	17.6%
65-74歳	人数	149	249	101	76	36	194	253	45	255	72	180	16	106
	割合	35.6%	59.4%	24.1%	18.1%	8.6%	46.3%	60.4%	10.7%	60.9%	17.2%	43.0%	3.8%	25.3%
保険者計	人数	198	324	139	117	50	234	298	71	304	112	244	18	127
	割合	36.8%	60.2%	25.8%	21.7%	9.3%	43.5%	55.4%	13.2%	56.5%	20.8%	45.4%	3.3%	23.6%
県	割合	36.9%	57.0%	26.2%	22.8%	8.1%	44.6%	57.0%	8.9%	52.7%	23.3%	45.7%	2.0%	24.9%
国	割合	34.5%	55.6%	28.3%	22.8%	7.4%	31.7%	57.3%	12.7%	51.2%	26.4%	48.2%	2.4%	23.4%

※抽出データ:KDB「様式5-2」

表41 健診受診者の有所見者状況(年齢階層別・女性)

女性		摂取エネルギーの過剰					血管を傷つける					メタボ以外の 動脈硬化要因	臓器障害	
		BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL-C	空腹時血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	クレアチニン	心電図
		25以上	90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上	
40-64歳	人数	47	40	27	13	2	46	77	2	67	31	83	0	18
	割合	29.6%	25.2%	17.0%	8.2%	1.3%	28.9%	48.4%	1.3%	42.1%	19.5%	52.2%	0.0%	11.3%
65-74歳	人数	109	107	62	29	11	153	272	10	247	52	221	1	70
	割合	25.9%	25.4%	14.7%	6.9%	2.6%	36.3%	64.6%	2.4%	58.7%	12.4%	52.5%	0.2%	16.6%
保険者計	人数	156	147	89	42	13	199	349	12	314	83	304	1	88
	割合	26.9%	25.3%	15.3%	7.2%	2.2%	34.3%	60.2%	2.1%	54.1%	14.3%	52.4%	0.2%	15.2%
県	割合	27.6%	22.7%	15.4%	10.5%	1.6%	31.0%	57.3%	1.3%	47.8%	16.0%	54.6%	0.3%	18.1%
国	割合	21.9%	19.1%	15.9%	9.6%	1.3%	20.0%	55.8%	1.8%	46.3%	17.0%	56.6%	0.3%	18.5%

※抽出データ:KDB「様式5-2」

表42 メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移

総計		健診 受診者	腹囲 のみ	予備群	高血糖			該当者	3項目全て			
					高血糖	高血圧	脂質異常症		血糖+血圧	血糖+脂質	血圧+脂質	3項目全て
平成30年	人数	1,183	37	138	12	100	26	257	62	5	124	66
	割合	100.0%	3.1%	11.7%	1.0%	8.5%	2.2%	21.7%	5.2%	0.4%	10.5%	5.6%
令和元年	人数	1,162	33	121	5	88	28	253	69	8	108	68
	割合	100.0%	2.8%	10.4%	0.4%	7.6%	2.4%	21.8%	5.9%	0.7%	9.3%	5.9%
令和2年	人数	969	19	95	2	75	18	243	57	4	102	80
	割合	100.0%	2.0%	9.8%	0.2%	7.7%	1.9%	25.1%	5.9%	0.4%	10.5%	8.3%
令和3年	人数	1,118	31	166	12	117	37	274	63	7	113	91
	割合	100.0%	2.8%	14.8%	1.1%	10.5%	3.3%	24.5%	5.6%	0.6%	10.1%	8.1%
令和4年	人数	1,100	31	158	11	105	42	274	57	9	137	71
	割合	100.0%	2.8%	14.4%	1.0%	9.5%	3.8%	24.9%	5.2%	0.8%	12.5%	6.5%

※抽出データ:KDB「様式5-3」

表43 メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況(年齢階層別・男性)

男性		健診 受診者	腹囲 のみ	予備群	予備群			該当者	該当者			
					高血糖	高血圧	脂質異常症		血糖＋血圧	血糖＋脂質	血圧＋脂質	3項目全て
40-64歳	人数	119	9	31	3	18	10	35	5	1	18	11
	割合	22.1%	7.6%	26.1%	2.5%	15.1%	8.4%	29.4%	4.2%	0.8%	15.1%	9.2%
65-74歳	人数	419	15	80	6	65	9	154	40	4	62	48
	割合	77.9%	3.6%	19.1%	1.4%	15.5%	2.1%	36.8%	9.5%	1.0%	14.8%	11.5%
保険者計	人数	538	24	111	9	83	19	189	45	5	80	59
	割合	100.0%	4.5%	20.6%	1.7%	15.4%	3.5%	35.1%	8.4%	0.9%	14.9%	11.0%

※抽出データ:KDB「様式5-3」

表44 メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況(年齢階層別・女性)

女性		健診 受診者	腹囲 のみ	予備群	予備群			該当者	該当者			
					高血糖	高血圧	脂質異常症		血糖＋血圧	血糖＋脂質	血圧＋脂質	3項目全て
40-64歳	人数	159	5	17	1	8	8	18	4	0	10	4
	割合	27.4%	3.1%	10.7%	0.6%	5.0%	5.0%	11.3%	2.5%	0.0%	6.3%	2.5%
65-74歳	人数	421	2	38	2	26	10	67	14	2	23	28
	割合	72.6%	0.5%	9.0%	0.5%	6.2%	2.4%	15.9%	3.3%	0.5%	5.5%	6.7%
保険者計	人数	580	7	55	3	34	18	85	18	2	33	32
	割合	100.0%	1.2%	9.5%	0.5%	5.9%	3.1%	14.7%	3.1%	0.3%	5.7%	5.5%

※抽出データ:KDB「様式5-3」

④重症化予防対象者の状況

・健診受診者の状況を受診勧奨判定値で見ると生活習慣病治療ありの者は905人、うち治療中有所見ありの者は592人、うち重症化リスクとなる高血圧、メタボ、脂質異常が高くなっている。生活習慣病治療なしで有所見ありの者は114人、うち重症化リスクとなる脂質異常、高血圧、メタボが高くなっている。(図18)

・健診受診者のうち、HbA1c6.5以上は男性75人、女性51人の計126人であり、うち、HbA1c6.5以上の未治療者は男性9人、女性9人で、HbA1c7.0以上の治療中コントロール不良者は男性35人、女性14人である。(表45、表46)

・健診受診者のうち、血圧Ⅱ度以上は男性27人、女性32人の計59人であり、健診受診者全体の約5%が血圧Ⅱ度以上となっている。うち、血圧Ⅱ度以上の未治療者は男性14人、女性14人で、血圧Ⅱ度以上の治療中コントロール不良者は男性13人、女性18人である。(表47、表48)

・健診受診者のうち、LDL-C160以上は男性46人、女性62人の計108人であり、うち、LDL-C160以上の未治療者は男性29人、女性41人で、LDL-C160以上の治療中コントロール不良者は男性17人、女性21人である。(表49、表50)

・健診受診者をCKD重症度分類で見ると、末期腎不全、心血管死の発症リスクが最も高いステージ(赤)が男性13人、女性3人の計16人である。うち尿蛋白(+)以上の未治療者は男性7人、女性2人である。一方で、リスクの高いステージには該当していないものの尿蛋白が(+)以上で未治療のリスク者は男性10人、女性4人となっている。(表51、表52)

図18 保健指導対象者数(受診勧奨判定値等)

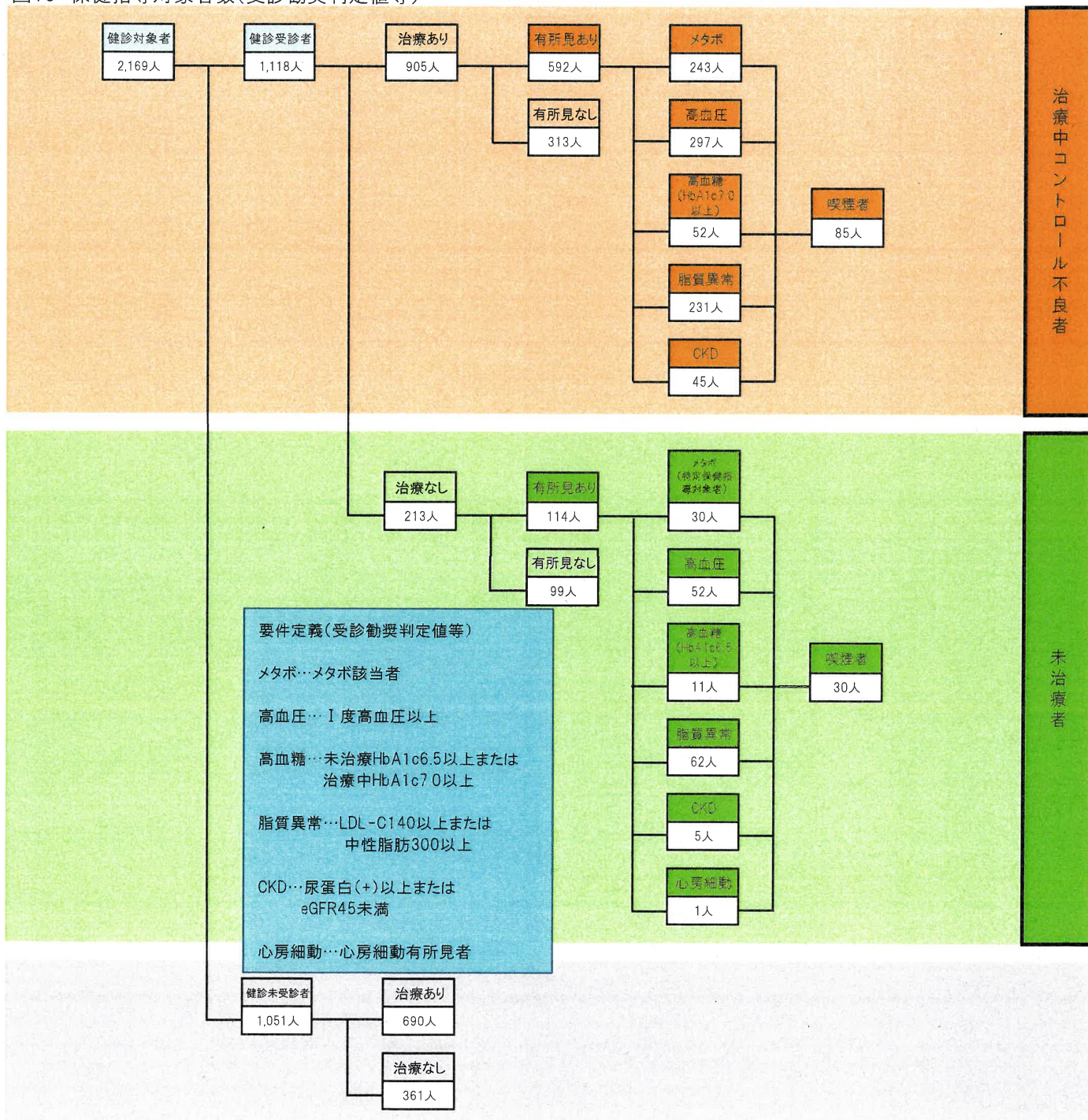


表45 重症化予防の観点からみた健診状況(HbA1c)

男性	6.5未満		6.5-6.9		7.0-7.9		8.0以上		再掲				計
									(未治療者)			(治療中者)	
									6.5-6.9	7.0-7.9	8.0以上	7.0以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	人数	人数	人数	人数
40-64歳	116	89.9%	5	3.9%	6	4.7%	2	1.6%	1	1	0	7	129
65-74歳	360	85.3%	30	7.1%	28	6.6%	4	0.9%	3	4	0	28	422
計	476	86.4%	35	6.4%	34	6.2%	6	1.1%	4	5	0	35	551

※抽出データ:令和3年度 KDB「介入支援管理」

表46 重症化予防の観点からみた健診状況(HbA1c)

女性	6.5未満		6.5-6.9		7.0-7.9		8.0以上		再掲				計
									(未治療者)			(治療中者)	
									6.5-6.9	7.0-7.9	8.0以上	7.0以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	人数	人数	人数	人数
40-64歳	161	95.3%	5	3.0%	2	1.2%	1	0.6%	0	1	1	1	169
65-74歳	386	90.0%	29	6.8%	8	1.9%	6	1.4%	6	1	0	13	429
計	547	91.5%	34	5.7%	10	1.7%	7	1.2%	6	2	1	14	598

※抽出データ:令和3年度 KDB「介入支援管理」

表47 重症化予防の観点からみた健診状況(血圧)

男性	正常 正常高値		高値		Ⅰ度		Ⅱ度		Ⅲ度		再掲(未治療者)		計
											Ⅱ度	Ⅲ度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	人数	
40-64歳	56	43.4%	42	32.6%	27	20.9%	3	2.3%	1	0.8%	0	1	129
65-74歳	145	34.2%	131	30.9%	125	29.5%	20	4.7%	3	0.7%	11	2	424
計	201	36.3%	173	31.3%	152	27.5%	23	4.2%	4	0.7%	11	3	553

※抽出データ:令和3年度 KDB「介入支援管理」

表48 重症化予防の観点からみた健診状況(血圧)

女性	正常 正常高値		高値		Ⅰ度		Ⅱ度		Ⅲ度		再掲(未治療者)		計
											Ⅱ度	Ⅲ度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	人数	
40-64歳	85	49.1%	55	31.8%	23	13.3%	7	4.0%	3	1.7%	5	0	173
65-74歳	158	36.6%	130	30.1%	122	28.2%	20	4.6%	2	0.5%	8	1	432
計	243	40.2%	185	30.6%	145	24.0%	27	4.5%	5	0.8%	13	1	605

※抽出データ:令和3年度 KDB「介入支援管理」

正常・正常高値:収縮期血圧130mmHg未満 または 拡張期血圧80mmHg未満
 高値:収縮期血圧130～140mmHg未満 または 拡張期血圧80～90mmHg未満
 Ⅰ度:収縮期血圧140～160mmHg未満 または 拡張期血圧90～100mmHg未満
 Ⅱ度:収縮期血圧160～180mmHg未満 または 拡張期血圧100～110mmHg未満
 Ⅲ度:収縮期血圧180mmHg以上 または 拡張期血圧110mmHg以上

表49 重症化予防の観点からみた健診状況(LDL-C)

男性	140未満		140～160未満		160～180未満		180以上		再掲(未治療者)		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	160～180未満	180以上	
40-64歳	95	73.6%	18	14.0%	11	8.5%	5	3.9%	7	5	129
65-74歳	338	79.7%	56	13.2%	20	4.7%	10	2.4%	13	4	424
計	433	78.3%	74	13.4%	31	5.6%	15	2.7%	20	9	553

※抽出データ:令和3年度 KDB「介入支援管理」

表50 重症化予防の観点からみた健診状況(LDL-C)

女性	140未満		140～160未満		160～180未満		180以上		再掲(未治療者)		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	160～180未満 人数	180以上 人数	
40～64歳	120	69.4%	32	18.5%	11	6.4%	10	5.8%	9	8	173
65～74歳	313	72.5%	78	18.1%	27	6.3%	14	3.2%	17	7	432
計	433	71.6%	110	18.2%	38	6.3%	24	4.0%	26	15	605

※抽出データ: 令和3年度 KDB「介入支援管理」

表51 男性 慢性腎臓病(CKD)重症度分類

尿蛋白区分 GFR区分 (ml/分/1.73㎡)			A1		A2		A3							
			(－)		(±)		(＋)以上		再掲			再掲 (未治療者)		
									(＋)	(2＋)	(3＋)	(＋)以上		
尿検査・GFR 共に実施			557		531		2		24		17	1	6	17
G1	正常 または高値	90以上	32	31	5.8%	0	0.0%	1	4.2%	1	0	0	1	
G2	正常または 軽度低下	60-90 未満	397	385	72.5%	1	50.0%	11	45.8%	10	1	0	9	
G3a	軽度～ 中等度低下	45-60 未満	105	100	18.8%	1	50.0%	4	16.7%	4	0	0	3	
G3b	中等度～ 高度低下	30-45 未満	17	14	2.6%	0	0.0%	3	12.5%	1	0	2	3	
G4	高度低下	15-30 未満	6	1	0.2%	0	0.0%	5	20.8%	1	0	4	1	
G5	末期腎不全 (ESKD)	15未満	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	

※抽出データ: 令和3年度 KDB「介入支援管理」

表52 女性 慢性腎臓病(CKD)重症度分類

尿蛋白区分 GFR区分 (ml/分/1.73㎡)				A1		A2		A3							
				(－)		(±)		(＋)以上		再掲			再掲 (未治療者)		
										(＋)	(2＋)	(3＋)	(＋)以上		
尿検査・GFR 共に実施				603		595		2		6		5	1	0	6
G1	正常 または高値	90以上	34	34	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
G2	正常または 軽度低下	60-90 未満	417	411	69.1%	2	100.0%	4	66.7%	4	0	0	0	4	4
G3a	軽度～ 中等度低下	45-60 未満	144	142	23.9%	0	0.0%	2	33.3%	1	1	0	0	2	2
G3b	中等度～ 高度低下	30-45 未満	7	7	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
G4	高度低下	15-30 未満	1	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
G5	末期腎不全 (ESKD)	15未満	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0

※抽出データ: 令和3年度 KDB「介入支援管理」

⑤質問票の状況

- ・令和3年の質問票の生活習慣項目では、「1回30分以上運動習慣なし」「歩く速度が遅い」の割合が高くなっている。
- ・令和3年の質問票の状況を保険者の割合が高かつ県・同規模・国より高い項目で見ると、生活習慣において「毎日飲酒」と回答した割合は28.6%、「週3回以上就寝前夕食」と回答した割合は18.1%と県、同規模、国の割合を上回っている。性・年代別に見ると、「毎日飲酒」、「週3回以上就寝前夕食」ともに回答した割合は男性で高くなっている。（表53、表54）

表53 質問票の状況

質問票項目		保険者				県	同規模	国	保険者
		H30	H31	R02	R03				R04
服薬	高血圧	39.9%	40.3%	39.9%	42.1%	42.0%	39.0%	35.5%	42.3%
	糖尿病	10.4%	11.0%	11.7%	13.0%	10.8%	10.0%	8.6%	11.5%
	脂質異常症	24.6%	25.1%	26.5%	28.1%	30.8%	27.5%	27.4%	28.4%
既往歴	脳卒中	3.2%	2.6%	2.0%	2.9%	3.2%	3.1%	3.2%	2.5%
	心臓病	5.7%	6.0%	5.9%	6.6%	6.0%	5.9%	5.6%	6.3%
	腎不全	0.2%	0.9%	0.3%	1.1%	0.8%	0.8%	0.8%	1.4%
	貧血	5.4%	7.0%	4.5%	4.8%	6.4%	8.7%	10.5%	5.9%
生活習慣	喫煙	15.5%	15.7%	15.8%	15.9%	13.3%	13.5%	13.6%	14.8%
	20歳時の体重から10kg以上増加	36.3%	36.4%	37.0%	38.1%	36.9%	35.0%	35.2%	36.7%
	1回30分以上運動習慣なし	66.0%	64.3%	65.7%	61.5%	62.8%	64.4%	60.7%	59.7%
	1日1時間以上運動なし	58.4%	55.4%	56.5%	52.4%	54.6%	48.1%	48.5%	54.3%
	歩く速度が遅い	56.4%	55.5%	53.4%	53.8%	54.0%	54.2%	50.4%	54.9%
	食事がかみにくい、かめない	21.0%	24.4%	23.1%	22.0%	21.3%	22.8%	20.8%	24.6%
	食べる速度が速い	26.8%	25.8%	26.2%	25.4%	25.4%	26.5%	27.1%	26.1%
	週3回以上就寝前夕食	16.6%	18.2%	17.7%	18.1%	15.3%	15.4%	15.6%	16.0%
	3食以外の間食を毎日	15.0%	14.3%	13.6%	14.6%	16.6%	21.1%	21.1%	14.5%
	週3回以上朝食を抜く	7.0%	7.2%	6.9%	7.6%	7.8%	7.5%	10.0%	7.6%
	睡眠不足	24.7%	24.3%	21.9%	24.1%	22.5%	23.8%	24.5%	24.1%
	毎日飲酒	28.1%	29.2%	29.4%	28.6%	25.5%	26.0%	25.5%	26.2%
1日の飲酒量	1合未満	37.5%	36.4%	38.8%	42.7%	58.5%	62.0%	65.1%	42.4%
	1～2合未満	45.2%	43.8%	41.9%	41.2%	29.5%	25.6%	23.3%	43.3%
	2～3合未満	14.6%	16.2%	18.0%	13.0%	10.1%	9.6%	9.0%	12.4%
	3合以上	2.6%	3.6%	1.3%	3.1%	2.0%	2.7%	2.6%	1.9%

※抽出データ:KDB「質問票調査の経年比較」

表54 性・年代別にみた質問票の状況(令和03年度)

質問票項目		男性			女性			計			
		40-64 歳	65-74 歳	計	40-64 歳	65-74 歳	計	40-64 歳	65-74 歳	計	
										人数	割合
服薬	高血圧	27.7%	53.5%	47.8%	16.4%	44.7%	36.9%	21.2%	49.0%	471	42.1%
	糖尿病	10.9%	19.1%	17.3%	3.1%	11.2%	9.0%	6.5%	15.1%	145	13.0%
	脂質異常症	14.3%	25.8%	23.2%	23.3%	36.1%	32.6%	19.4%	31.0%	314	28.1%
既往歴	脳卒中	2.6%	3.5%	3.3%	1.4%	3.0%	2.6%	1.9%	3.3%	31	2.9%
	心臓病	6.9%	10.6%	9.7%	2.0%	4.3%	3.6%	4.2%	7.4%	70	6.6%
	腎不全	2.6%	2.0%	2.1%	0.0%	0.3%	0.2%	1.1%	1.1%	12	1.1%
	貧血	0.9%	1.8%	1.6%	14.9%	5.3%	7.8%	8.7%	3.5%	51	4.8%
生活習慣	喫煙	47.1%	22.2%	27.7%	10.7%	2.9%	5.0%	26.3%	12.5%	178	15.9%
	20歳時の体重から10kg以上増加	51.7%	41.1%	43.5%	39.2%	30.8%	33.0%	44.7%	35.9%	404	38.1%
	1回30分以上運動習慣なし	72.4%	58.2%	61.4%	75.0%	56.8%	61.7%	73.9%	57.5%	653	61.5%
	1日1時間以上運動なし	56.0%	51.1%	52.2%	61.5%	49.3%	52.6%	59.1%	50.2%	556	52.4%
	歩く速度が遅い	59.5%	52.1%	53.8%	60.1%	51.5%	53.8%	59.8%	51.8%	571	53.8%
	食事がかみにくい、かめない	17.2%	25.2%	23.4%	15.5%	22.5%	20.6%	16.3%	23.8%	233	22.0%
	食べる速度が速い	41.4%	25.4%	29.0%	24.3%	21.0%	21.9%	31.8%	23.2%	269	25.4%
	週3回以上就寝前夕食	25.0%	19.6%	20.9%	17.6%	14.8%	15.5%	20.8%	17.2%	192	18.1%
	3食以外の間食を毎日	13.8%	8.6%	9.7%	27.7%	16.0%	19.2%	21.6%	12.3%	155	14.6%
	週3回以上朝食を抜く	15.5%	7.6%	9.4%	13.5%	3.3%	6.0%	14.4%	5.4%	81	7.6%
	睡眠不足	25.0%	23.7%	24.0%	29.7%	22.3%	24.3%	27.7%	23.0%	256	24.1%
	毎日飲酒	44.0%	52.1%	50.3%	11.5%	7.0%	8.2%	25.8%	29.5%	303	28.6%
1日の飲酒量	1合未満	24.1%	31.3%	29.8%	67.3%	76.7%	73.7%	40.6%	43.4%	220	42.7%
	1～2合未満	45.6%	50.4%	49.3%	22.4%	21.4%	21.7%	36.7%	42.6%	212	41.2%
	2～3合未満	22.8%	15.5%	17.1%	8.2%	1.0%	3.3%	17.2%	11.6%	67	13.0%
	3合以上	7.6%	2.8%	3.9%	2.0%	1.0%	1.3%	5.5%	2.3%	16	3.1%

※抽出データ:KDB「質問票調査の経年比較」

⑥特定保健指導の状況

・特定保健指導終了率は、令和3年72.0%であり、平成30年と比較して増加している。県、同規模、国と比較すると高く、国の目標値と比較しても高い状況にある。(表55、図19)

・男女別に特定保健指導終了率をみると、男性は70.9%、女性は73.9%と男性が低くなっている。また、男性では60-64歳、女性では50-54歳が低い状況である。(表56、表57、図20)

表55 特定保健指導の推移

	保険者			県			同規模			国		
	対象者	実施者	終了率	対象者	実施者	終了率	対象者	実施者	終了率	対象者	実施者	終了率
平成30年	141	66	46.8%	15,396	4,108	26.7%	18,767	8,367	44.6%	949,164	225,564	23.8%
令和元年	138	59	42.8%	14,945	4,501	30.1%	18,635	8,120	43.6%	915,344	221,572	24.2%
令和02年	129	107	82.9%	13,165	4,251	32.3%	16,266	7,080	43.5%	816,644	194,170	23.8%
令和03年	132	95	72.0%	14,015	4,678	33.4%	17,314	7,548	43.6%	862,017	206,955	24.0%
令和04年	133	0	0.0%	13,041	643	4.9%	16,569	2,951	17.8%	767,328	69,327	9.0%

※抽出データ:KDB「地域の全体像の把握」

図19 特定保健指導の推移

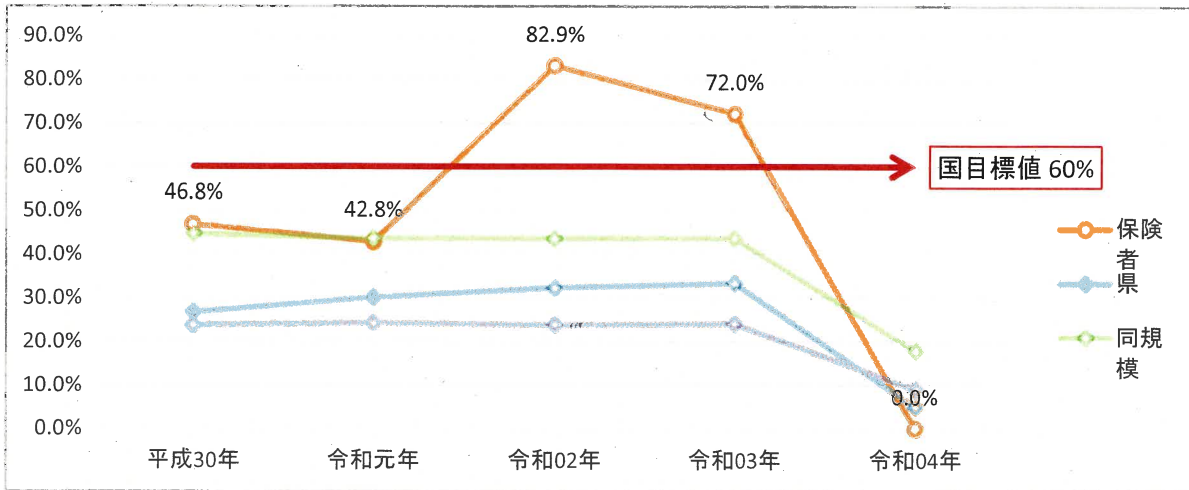


表56 特定保健指導率の推移(男性・年齢別)

男性	保健指導対象者数	保健指導実施者数		保健指導終了者数	終了率
		動機づけ支援	積極的支援		
40~64歳	39	10	12	22	56.4%
65~74歳	47	39	0	39	83.0%
計	86	49	12	61	70.9%

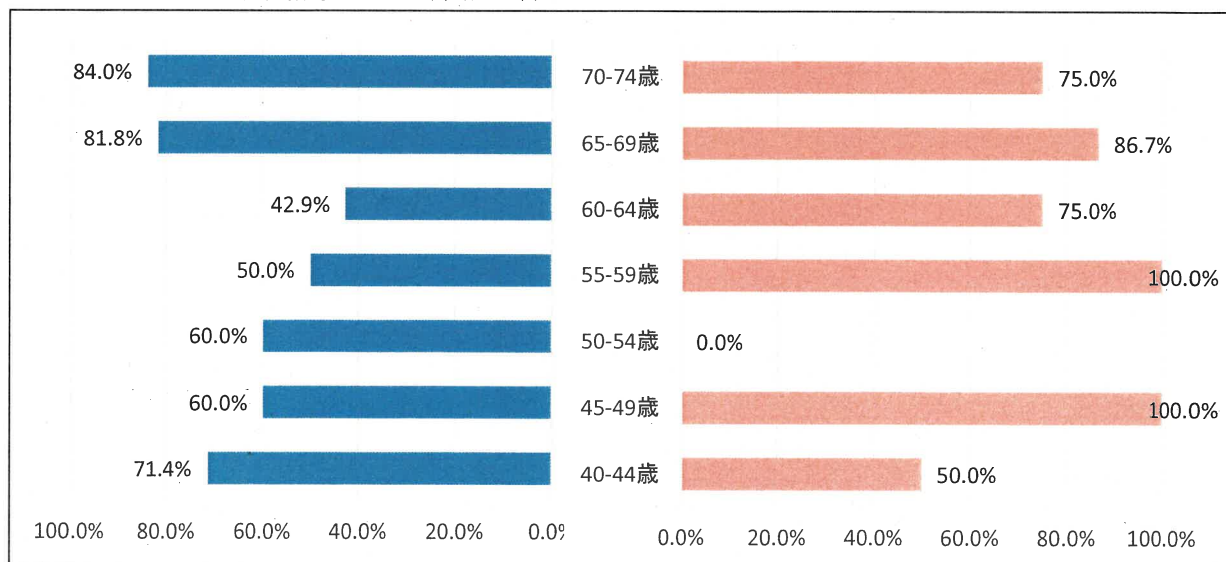
※抽出データ:KDB「健診の状況」

表57 特定保健指導率の推移(女性・年齢別)

女性	保健指導対象者数	保健指導実施者数		保健指導終了者数	終了率
		動機づけ支援	積極的支援		
40~64歳	19	10	2	12	63.2%
65~74歳	27	22	0	22	81.5%
計	46	32	2	34	73.9%

※抽出データ:KDB「健診の状況」

図20 男女年齢別特定保健指導率の状況(令和3年)



(4)多剤・重複処方、頻回・重複受診の状況

①多剤薬剤処方の状況

・6剤以上の薬剤処方を受けている者が男性256人、女性165人の計421人、うち20剤以上の薬剤処方を受けている者は男性2人、女性1人である。(表58、表59)

表58 (男性)多剤薬剤処方の状況

男性	6剤未満		6～10剤未満		10～15剤未満		15～20剤未満		20剤以上		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
64歳以下	165	67.6%	53	21.7%	19	7.8%	5	2.0%	2	0.8%	244
65歳以上	307	63.4%	130	26.9%	41	8.5%	6	1.2%	0	0.0%	484
計	472	64.8%	183	25.1%	60	8.2%	11	1.5%	2	0.3%	728

※抽出データ:令和4年7月度 KDB「介入支援管理」

表59 (女性)多剤薬剤処方の状況

女性	6剤未満		6～10剤未満		10～15剤未満		15～20剤未満		20剤以上		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
64歳以下	168	75.0%	40	17.9%	13	5.8%	2	0.9%	1	0.4%	224
65歳以上	350	76.3%	79	17.2%	26	5.7%	4	0.9%	0	0.0%	459
計	518	75.8%	119	17.4%	39	5.7%	6	0.9%	1	0.1%	683

※抽出データ:令和4年7月度 KDB「介入支援管理」

②重複服薬の状況

・2医療機関以上で重複服薬が発生している者が男性43人、女性25人の計68人、うち5医療機関以上で重複服薬が発生している者は男性2人、女性2人である。(表60)

表60 性年齢別重複服薬対象者の状況

	薬剤処方を受けている者	2医療機関で重複薬剤処方を受けている者	3医療機関で重複薬剤処方を受けている者	4医療機関で重複薬剤処方を受けている者	5医療機関以上で重複薬剤処方を受けている者	重複薬剤服薬者総計	
64歳以下	244	6	4	1	1	12	4.9%
65歳以上	484	17	8	5	1	31	6.4%
男性計	728	23	12	6	2	43	5.9%
64歳以下	224	4	3	2	0	9	4.0%
65歳以上	459	7	1	6	2	16	3.5%
女性計	683	11	4	8	2	25	3.7%
総計	1,411	34	16	14	4	68	4.8%

※抽出データ:令和4年7月度 KDB「介入支援管理」

③頻回受診の状況

・1月に同一の医療機関を1日以上受診した者が男性833人、女性811人の計1,644人、うち15日以上頻回受診が発生している者は男性6人である。(表61、表62)

表61 (男性)頻回受診の状況

男性	15～19日		20日以上		計 (1日以上)
	人数	割合	人数	割合	人数
64歳以下	2	0.7%	1	0.3%	293
65歳以上	2	0.4%	1	0.2%	540
計	4	0.5%	2	0.2%	833

※抽出データ:令和4年7月度 KDB「介入支援管理」

表62 (女性)頻回受診の状況

女性	15～19日		20日以上		計 (1日以上)
	人数	割合	人数	割合	人数
64歳以下	0	0.0%	0	0.0%	295
65歳以上	0	0.0%	0	0.0%	516
計	0	0.0%	0	0.0%	811

※抽出データ: 令和4年7月度 KDB「介入支援管理」

④重複受診の状況

・1月に2医療機関以上受診している者が男性270人、女性264人の計534人、うち5医療機関以上を受診している者は男性3人、女性5人である。(表63、表64)

表63 (男性)重複受診の状況

男性	2医療機関		3医療機関		4医療機関		5医療機関以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
64歳以下	58	79.5%	13	17.8%	1	1.4%	1	1.4%
65歳以上	149	75.6%	33	16.8%	13	6.6%	2	1.0%
計	207	76.7%	46	17.0%	14	5.2%	3	1.1%

※抽出データ: 令和4年7月度 KDB「介入支援管理」

表64 (女性)重複受診の状況

女性	2医療機関		3医療機関		4医療機関		5医療機関以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
64歳以下	60	72.3%	16	19.3%	6	7.2%	1	1.2%
65歳以上	137	75.7%	27	14.9%	13	7.2%	4	2.2%
計	197	74.6%	43	16.3%	19	7.2%	5	1.9%

※抽出データ: 令和4年7月度 KDB「介入支援管理」

VI. 第2期データヘルス計画に係る評価と考察

1. 中長期目標の達成状況

(1) 中長期目標達成状況に係る評価と考察

第2期計画において、中長期目標の疾患である脳血管疾患・虚血性心疾患、慢性腎不全等の重症化予防を進めてきた。平成28年度(基準年度)と令和4年度(最終評価)、R5年度(目標値)についての達成状況に係る評価は以下のとおりである。

- ・脳血管疾患について
医療費は、横ばいで推移しているが、患者数は基準年度より半数に減少している。
- ・虚血性心疾患について
医療費が、0.3ポイント増加し、患者数も基準年度より2倍に増加している。
- ・糖尿病性腎症について
人工透析における糖尿病性腎症の割合は、基準年度より増加しているが、人数としては、横ばいで推移しており、年度により変動がある。
- ・主に悪化の要因として、本町は国や県に比べ生活習慣病疾病の(虚血性心疾患、糖尿病、腎不全、高血圧)医療費が高く、治療を行っているものの生活習慣の見直しがされず、コントロール(治療)不良になっていると考えられる。また、健診データの軽度異常を軽視し、満腹になるまで食べる食習慣や移動手段として車等を活用する等して運動不足の方が多いことから、生活全体を見直し、発症及び重症化予防のアプローチの促進が必要である。

上記のことからも、短期目標に基づいた個別保健事業の充実を図る。

【中長期目標評価指標の達成状況】

中長期目標	評価指標	基準年度 実績値	最終評価 実績値	目標値	第2期計画の 達成状況	次期計画 の方向性
		H28	R4	R5		
脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	脳血管疾患の総医療費に占める割合	1.41	1.52	1.27%	悪化	
脳血管疾患による長期入院者の減少	脳血管疾患による長期入院者	8	4	4人	改善	
虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	虚血性心疾患の総医療費に占める割合	1.52	1.82	1.37%	悪化	
虚血性疾患の高額レセプト(80万円以上)対象者の減少	虚血性疾患の高額レセプト(80万円以上)対象者	4	9	2人	悪化	
糖尿病性腎症による新規透析導入者の人数の減少	糖尿病性腎症による新規透析導入者の人数	0	1	2人	悪化	
糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少	糖尿病性腎症による透析導入者の割合	50.0	62.5	45%	悪化	

2. 短期目標の達成状況

(1) 短期目標達成状況に係る評価と考察

第2期計画において、短期目標の疾患である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の重症化予防を進めてきた。平成28年度（基準年度）と令和4年度（最終評価）、R5年度（目標値）についての達成状況に係る評価は以下のとおりである。

- ・特定健診受診率や特定保健指導、糖尿病重症化予防・生活習慣病重症化予防対象者への指導率は、上昇傾向にあるものの、対象者の減少や健診結果の改善に繋がっていない。
- ・血圧有所見者の割合は、基準年度と比較し低下傾向にあるが、県平均よりは、高い。
- ・糖尿病未治療者の割合は、減少傾向にあるが、治療中における血糖コントロール不良者の割合が年々増加している。
- ・メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合に変化していない。
- ・特定健診・特定保健指導の受診率・指導率は、上昇している。
- ・がん検診では、コロナ禍の影響の為、受診率が低下している。乳がん検診のみ20%台であり、受診率は上昇傾向にある。
- ・改善されない要因として、運動習慣や食事時間、食事量等の食生活習慣が大きく関係していると考えられる為、地域全体の行動変容を促す仕組みづくりの導入。
- ・かかりつけ医と連携し、町が実施している保健事業の紹介や個人データや治療状況の共有を行い、保健指導の実施を行う。

上記のことからも、下記短期目標を達成するために、個別保健事業の充実を図る。

【短期目標評価指標の達成状況】

短期目標	評価指標	基準年度 実績値	最終評価 実績値	目標値	第2期計画の 達成状況	次期計画 の方向性
		H28	R4	R5		
高血圧有所見者の割合減少 (Ⅱ度以上)	高血圧有所見者の割合 (Ⅱ度以上)	5.5 (61人)	3.3 (41人)	4.9%以下	改善	
HbA1c有所見者の割合減少 (6.5%以上の未治療者)	HbA1c有所見者の割合 (6.5%以上の未治療者)	2.7 (30人)	1.3 (16人)	2.4%以下	改善	
HbA1c有所見者の割合減少 (7.0%以上の治療中者)	HbA1c有所見者の割合 (7.0%以上の治療中者)	2.5 (28人)	4.0(49人)	2.3%以下	悪化	
中性脂肪(300mg/dl以上)の有所 見者の割合減少	中性脂肪(300mg/dl以上)の 有所見者の割合	2.1 (23人)	2.2 (25人)	1.8%以下	維持	
脂質異常症の有所見者の割合減少 (LDL160以上)	脂質異常症の有所見者の割合 (LDL160以上)	11.7	5.6 (69人)	6.0%以下	改善	
メタボリックシンドローム該当者・予 備群の減少	メタボリックシンドローム該当 者・予備群	34.7 (384人)	35.4 (438人)	30%以下	維持	
尿蛋白(+)以上の者の割合減少	尿蛋白(+)以上の者の割合	2.3	3.1 (23人)	2.0%以下	悪化	
GFR45ml/分/1.73m ² 未満(70歳 以上は40ml/分/1.73m ² 未満)の 未治療者	GFR45ml/分/1.73m ² 未満 (70歳以上は40ml/分/1.73 m ² 未満)の未治療者	2.3 (26人)	1.1 (14人)	2.0%	改善	
特定健診受診率	特定健診受診率	46.4	53.7	55.0%	改善	
特定保健指導終了率	特定保健指導終了率	22.1	56.0	60.0%	改善	
特定保健指導対象者の減少率	特定保健指導対象者の減少 率	18.8	15.1	25.0%	維持	
糖尿病の未治療者が治療に結び ついた割合の増加	糖尿病の未治療者が治療に 結びついた割合	—	65.1	80%	悪化	
糖尿病(未治療者+ハイリスク者) の保健指導を実施した割合の増 加	糖尿病(未治療者+ハイリス ク者)の保健指導を実施した 割合	15.5	68.8	51%	改善	
健診受診者のHbA1c8.0%以上の 未治療者の割合減少	健診受診者のHbA1c8.0%以 上の未治療者の割合	0.70	0.6 (7人)	0.2%以下	改善	

3. 個別保健事業実施計画の評価

個別保健事業	評価指標	基準年度 実績値	最終評価 実績値	目標値	第2期計画の 達成状況	次期計画の 方向性
		H28	R4	R5		
特定健康診査未受診 者対策事業	特定健康診査受診率	46.4%	53.7%	55.0%	改善	継続
特定健康診査受診者 へのフォローアップ事 業	特定健康診査受診率	46.4%	53.7%	55.0%	改善	継続
	健診結果説明会の 参加率	62.2% ※R1	42.3%	40.0%	悪化	
	健診結果説明会の 開催回数	1回 ※R1	1回	2回	維持	
特定保健指導 事業	特定保健指導終了者 率	22.1%	56.0%	60.0%	改善	継続
	特定保健指導対象者 の減少率	18.8%	15.1%	25.0%	悪化	
生活習慣病重症化 予防事業	要医療判定者の受診 率	58.3%	62.0%	60.0%	維持	継続
	保健指導実施率	17.3% ※29	42.4%	30.0%	改善	
	高血圧有所見者の割 合(Ⅱ度以上)	5.5%	3.3%	4.9%以下	改善	
	中性脂肪(300mg/dl以 上)の有所見者の割合	2.1%	2.2%	1.8%以下	維持	
	脂質異常症の有所見 者の割合(LDL160以 上)	11.7%	5.6%	6.0%以下	改善	
	尿蛋白(+)以上の者の 割合	2.3%	3.1%	2.0%以下	悪化	
	GFR45ml/分/1.73㎡未満 (70歳以上は40ml/分/1.73 ㎡未満)の未治療者	2.3%	1.1%	2.0%以下	改善	

個別保健事業	評価指標	基準年度 実績値	最終評価 実績値	目標値	第2期計画の 達成状況	次期計画の 方向性
		H28	R4	R5		
糖尿病性腎症重症化 予防事業	未受診者の医療機関 受診率	69.2% H30	65.1%	70.0%	維持	継続
	未治療者に対する保健 指導実施率	15.5%	72.1%	50.0%	改善	
	HbA1c有所見者の割 合(6.5%以上の未治療 者)	2.7%	1.3%	2.4%以下	改善	
	HbA1c有所見者の割 合(7.0%以上の治療中 者)	2.5%	4.0%	2.3%以下	悪化	
	HbA1c8.0以上の人数	17人 ※H30	13人	15人	改善	
	糖尿病性腎症を原因と する新規人工透析導 入者・割合	3人 ※H29	1人	1人	維持	

※ ポピュレーションアプローチ、COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策事業は「健康増進計画」に、ジェネリック医薬品普及啓発事業、重複・頻回受診対策事業は、「医療適正化計画」に盛り込むことし、削除する。

Ⅶ. 健康課題の明確化

1. 健康・医療情報等の分析結果に基づく健康課題の明確化

(1) 棚倉町の特性(人口構成、人口動態、世帯人員構成、産業構成など)

棚倉町の人口は12,856人で、うち老年人口割合は33.7%となっており、年々年少、生産年齢人口は減少し高齢化が進行している。国保人口においても前期高齢者の占める割合は54.1%となっている。

令和4年の平均余命及び平均自立期間は、男女ともに圏域、県、国と比べて短くなっている。平均余命から平均自立期間を引いた不健康期間は男性では1.3年、女性では3.3年となっている。

死因別死亡では悪性新生物、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患の順に高くなっており、いずれも圏域、県、国を上回っている。

(2) 介護

1号被保険者における要介護認定者数は平成30年と比較して減少しており、要介護3が最も多く、要支援2、要介護2と続く。国保及び後期高齢者医療の認定状況をみると男性235人、女性590人と女性が多い状況である。

1号被保険者の有病状況をみると、心臓病の割合が最も高く、次いで筋・骨疾患、精神疾患となっている。また、2号被保険者では心臓病が最も高く、次いで脳疾患、精神疾患となっている。

介護総給付費は約13億円で平成30年と比較して増加しており、1件当たりの介護給付費は77,585円で平成30年と比較し減少している。

(3) 医療

1件あたり医療費(入院+外来)は平成30年と比較して減少しており、県、同規模、国を下回り、県内順位は59市町村中47位、同規模147市町村中124位となっている。

大分類医療費を疾病別にみると新生物が最も高く、次いで循環器系の疾患、内分泌、栄養及び代謝疾患と続き県、同規模、国を上回っている。生活習慣病疾病内訳では、循環器系の疾患は高血圧が約3割を占め、内分泌、栄養及び代謝疾患は糖尿病が約7割を占めており、県、同規模、国を上回っている。

80万円以上の高額レセプト件数は、悪性新生物が最も高く、次いで脳血管疾患、虚血性心疾患となっており、費用額に占める割合においても悪性新生物に占める割合が最も高く、次いでその他の心疾患となっている。

国保の人工透析患者は、令和4年8人となっており平成30年と比較して5人減少しており、人工透析費用は平成30年と比較し減少している。一方で、後期の人工透析では国保と比較して患者数が3.1倍、医療費が2.6倍に増加している。人工透析の合併症では、約6割が糖尿病を、約3割が脳血管疾患を、約1割が虚血性心疾患を併発している。

(4) 健診・保健指導

特定健康診査の受診率は51.5%で同規模、県、国と比較して上回っており、県内59市町村中24位となっている。男女別では女性の受診率が男性に比べて6.9ポイント高く、男性は70-74歳、女性は65-69歳が最も高く、男性は50-54歳、女性は55-59歳が最も低くなっている。

特定健診受診者と未受診者の生活習慣病医療費をみると、特定健診受診者は約9万円で健診未受診者は約33万円と約3.6倍の差がみられる。

令和3年度の健診有所見者状況(血管を傷つける)は、県、国と比較して、男女とも尿酸、収縮期血圧が、女性では空腹時血糖、HbA1cの割合が高くなっており、臓器障害のクレアチニンでは男性が国、県を上回っている。メタボ予備群・該当者の状況は、予備群では高血圧が高く、該当者では血圧+脂質を重複している割合が高い状況である。

重症化予防対象者で未治療の者は、HbA1c6.5以上では18人(14.3%)、血圧Ⅱ度以上では28人(47.5%)、LDL-C160以上では70人(64.8%)である。CKD重症度分類では未治療者が23人(76.7%)である。また、治療中の者HbA1c7.0以上では49人、血圧Ⅱ度以上では31人、LDL-C160以上では38人となっている。

健診質問票の状況の生活習慣の項目では、「1回30分以上運動習慣なし」「歩く速度が遅い」の割合が高くなっている。

2. 第2期データヘルス計画に係る考察

(1) 個別保健事業実施計画の評価における考察を踏まえた課題

- ・特定健診受診率の向上に向け、住民への健診の必要性の情報提供や特に50歳代の男女が受診率が低い為、早期から生活習慣病予防を意識する取り組みが必要である。
- ・生活習慣病に関する知識と健康意識の高揚を図るため、地域組織活動(健幸アンバサダー)、商工会など関係組織と連携し健康情報の提供を行っていく必要がある。
- ・重症化予防のために、個別指導に重点を置き、男女とともに高血圧、高脂血症を重複しているケースが多く、未治療者や治療のコントロール不良者が多いため、町民の生活習慣病予防の意識を高めるとともに、医療機関と連携した重症化予防の取り組みが重要である。

(2) 中長期目標及び短期目標の達成状況の考察を踏まえた課題

「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「慢性腎不全」の医療費の割合が高額となり、それらが死因の状況にもつながっている。生活習慣病患者数も経年的に横ばいで推移し、高血圧、脂質異常、糖尿病など生活習慣病の重症化により、心臓病、脳血管疾患などの循環器疾患の該当者が多いため、生活習慣病の重症化により要介護へ移行していく方も多い。

健診結果からも、男女ともに高血圧が多く、メタボ該当者、では、男女ともに高血圧、脂質を重複している割合が高く、未治療者や治療のコントロール不良者多いため、そのまま移行すれば重篤な疾患を発症する可能性が高いため、引き続き、関係団体と連携図り、町民の健康意識を高めるとともに、健診の受診率向上に努め、医療機関と連携し重症化予防へ取り組んでいくことが必要である。

3. 質的情報の分析及び地域資源の状況

健診未受診の理由は主に「治療中している疾患があるため健診は必要ない」「忙しく時間がとれない」「健康だから受けない」など健診の必要性の意識が低いことがうかがえる。そのため、チラシや個人通知での勧奨に加え、住民が自分の健康に関心を持ち、特定健診から生活習慣改善に取り組む気持ちを醸成できるような事業展開が必要である。

各地区の保健協力員、健幸アンバサダー、健康づくりに関心があるボランティア団体と連携し、今後も地域での健康に関する知識の共有を図っていく必要がある。

4. 健康課題解決のための優先順位

(1) 棚倉町では、新生物の医療費割合が高く、次いで循環器系の疾患、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病含む)が高く、循環器系の疾患の中でも心疾患、脳血管疾患の死亡率が高く、80万円以上の高額医療に占める割合も高い状況である。また、医療費内訳では、循環器系の疾患は高血圧が約3割を占め、内分泌、栄養及び代謝疾患は糖尿病が約7割を占め、外来の性年齢別疾病状況では男女とも糖尿病が高い状況である。脳・心・腎重症化予防のため、継続して適正受診をすすめ、保健指導等の個別支援を実施していくことが必要である。

(2) 特定健康診査受診率は男性48.2%、女性55.1%となっており、女性と比較して男性の受診率が低い。年代別には男性は50-54歳、女性は55-59歳の受診率が最も低くなっている。健康状態の把握のために、医療を受けていても健診受診をすることは重要である。特定保健指導は健診結果が起点であり、未受診者に対して積極的な受診勧奨を実施し、受診率の向上に取り組むことが必要である。

(3) 健診の有所見者状況では、男女とも尿酸、収縮期血圧が、男性はクレアチニン、女性は空腹時血糖、HbA1cの割合が県・国を上回っている。また、メタボ予備群・該当者の状況では男女ともに予備群では高血圧、該当者では血圧+脂質を重複している割合が高い状況である。未治療者の状況ではHbA1c6.5以上、血圧Ⅱ度以上、LDL-C160以上、尿蛋白(+)以上の項目で未治療者が存在し、治療中のコントロール不良者も多い状況である。重症化予防の観点から未治療者を医療機関受診につなげ、治療中コントロール不良者に対しては医療機関との連携を図ることが必要である。

Ⅷ. 目的・目標の設定

1. 目的

様々な年代の健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進と生活の質の維持及び向上を図り、健康増進の延伸や医療費の適正化に資することを目的とする。

2. 目標

(1) 中長期目標

医療費が高額で死亡率が高く、要介護認定者の要介護の原因疾患となっている脳血管疾患や虚血性心疾患及び糖尿病性腎症(人工透析)の医療費を減らしていくことを目標とする。

項目			指標	目標値							
				計画策定 時実績				中間評価 年度			最終評価 年度
				2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目的達成に向けた中長期的目標	虚血性心疾患 の減少	医療費(円)	R4比 10%減	16,769,570	16,434,000	16,098,000	15,931,000	15,763,000	15,595,000	15,428,000	15,092,000
		医療費割合(%)		2.0	1.96	1.92	1.90	1.88	1.86	1.84	1.80
		患者数(人)		93	91	89	88	87	86	86	84
		患者割合(%)		3.40	3.33	3.26	3.23	3.20	3.16	3.13	3.06
	脳血管疾患 の減少	医療費(円)		20,667,620	20,254,000	19,840,000	19,634,000	19,634,000	19,427,000	19,220,000	18,600,000
		医療費割合(%)		2.40	2.35	2.30	2.28	2.26	2.23	2.21	2.16
		患者数(人)		100	98	96	95	94	93	92	90
		患者割合(%)		3.70	3.63	3.55	3.52	3.48	3.44	3.40	3.33
	慢性腎臓病 の減少	医療費(円)		42,301,000	41,454,000	40,608,000	40,185,000	39,762,000	39,339,000	38,916,000	38,070,000
		医療費割合(%)		4.90	4.80	4.70	4.66	4.61	4.56	4.51	4.41
	人工透析の減少	医療費(円)		37,906,180	37,148,000	36,389,000	36,010,000	35,631,000	35,252,000	34,873,000	34,115,000
		医療費割合(%)		4.40	4.31	4.22	4.18	4.14	4.09	4.05	3.96
		患者数(人)		8	8	7	7	6	6	5	5
		患者割合(%)		0.3	0.29	0.29	0.29	0.28	0.28	0.28	0.27
		糖尿病併発患者数(人)		5	4	3	3	3	3	2	2
		患者割合(%)		62.5	61.25	60.00	59.38	58.75	58.13	57.50	56.25
		新規患者数(人)		3	3	3	2	2	2	1	1
		罹患率(%)		37.5	36.8	36.0	35.6	35.3	34.9	34.5	33.8



中長期目標達成のための目標	糖尿病の減少	医療費(円)	R4比 10%減	59,579,380	58,387,000	57,196,000	56,600,000	56,004,000	55,408,000	54,813,000	53,621,000
		医療費割合(%)		6.90	6.76	6.62	6.56	6.49	6.42	6.35	6.21
		患者数(人)		346	339	332	329	325	322	318	311
		患者割合(%)		12.7	12.4	12.2	12.1	11.9	11.8	11.7	11.4
	高血圧症の減少	医療費(円)		36,660,520	35,927,000	35,194,000	34,827,000	34,460,000	34,094,000	33,727,000	32,994,000
		医療費割合(%)		4.30	4.21	4.13	4.09	4.04	4.00	3.96	3.87
		患者数(人)		710	696	682	675	667	660	653	639
		患者割合(%)		26.1	25.6	25.1	24.8	24.5	24.3	24.0	23.5
	脂質異常症 の減少	医療費(円)		20,463,530	20,054,000	19,644,000	19,440,000	19,235,000	19,031,000	18,826,000	18,417,000
		医療費割合(%)		2.4	2.35	2.30	2.28	2.26	2.23	2.21	2.16
		患者数(人)		484	474	465	460	455	450	445	436
		患者割合(%)		17.8	17.44	17.09	16.91	16.73	16.55	16.38	16.02

2023.12.19時点

(2)短期目標

特定健康診査受診率及び特定保健指導の終了率の向上を図り、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の血管変化における共通のリスクとなる「高血圧」「糖尿病」「脂質異常」「メタボ該当者・予備群」等を減らし生活習慣病の発症予防・重症化予防を目指す。

項目		指標	目標値							
			計画策定 時実績				中間評価 年度			最終評価 年度
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
			R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
特定健診受診率の向上		60%	53.4% (1,093人)	54% (1104人)	55% (1124人)	56% (1145人)	57% (1165人)	58% (1186人)	59% (1206人)	60% (1227人)
特定保健指導終了者率の向上		60%	56.0% (75人)	56.5% (76人)	57% (77人)	57.5% (77人)	58% (78人)	58.5% (78人)	59% (79人)	60% (80人)
メタボ該当者・予備群割合の減少		30%	35.4% (438人)	35% (432人)	34.5% (426人)	34% (420人)	33% (408人)	32% (395人)	31% (383人)	30% (371人)
Ⅱ度高血圧以上 対象者割合の減少		R4比 10%減	3.3% (41人)	3.25% (40人)	3.2% (39人)	3.15% (38人)	3.1% (38人)	3.05% (37人)	3% (37人)	2.97% (36人)
糖尿病	HbA1c6.5%以上の 未治療者割合の減少		1.3% (16人)	1.27% (15人)	1.25% (15人)	1.23% (15人)	1.2% (14人)	1.19% (14人)	1.18% (14人)	1.17% (14人)
	HbA1c7.0%以上の 治療者割合の減少		4.0% (49人)	3.95% (48人)	3.9% (48人)	3.85% (47人)	3.8% (47人)	3.75% (46人)	3.7% (45人)	3.65% (45人)
脂質 異常症	LDL-C160mg/dl 以上者割合の減少		5.6% (69人)	5.5% (68人)	5.4% (66人)	5.35% (66人)	5.3% (65人)	5.25% (64人)	5.2% (64人)	5.1% (63人)
	中性脂肪300mg/dl 以上者割合の減少		2.0% (25人)	1.97% (24人)	1.94% (23人)	1.91% (23人)	1.88% (23人)	1.85% (22人)	1.82% (22人)	1.8% (22人)
CKD	尿蛋白+以上者 割合の減少		1.9% (23人)	1.87% (23人)	1.84% (22人)	1.81% (22人)	1.78% (22人)	1.75% (21人)	1.72% (21人)	1.7% (21人)
	eGFR45未満(70歳以上40未 満)の未治療者割合の減少		1.1% (14人)	1.08% (13人)	1.07% (13人)	1.05% (12人)	1.04% (12人)	1.02% (12人)	1.01% (12人)	0.99% (12人)
心電図	心房細動有所見者 割合の減少		1.1% (14人)	1.08% (13人)	1.07% (13人)	1.05% (12人)	1.04% (12人)	1.02% (12人)	1.01% (12人)	0.99% (12人)

2023.12.19時点

IX. 保健事業実施計画

1. 個別保健事業一覧

中長期目標及び短期目標を達成するために、下記の個別保健事業を実施する。

No	事業名称	アプローチ
1	特定健康診査未受診対策事業	ポピュレーション
2	特定保健指導事業	ハイリスク
3	生活習慣病重症化予防事業	ハイリスク
4	糖尿病性腎症重症化予防事業	ハイリスク

2. 個別保健事業

(1) 特定健康診査未受診対策事業

事業の目的		特定健康診査未受診者と特に受診率の低い年代に受診勧奨を実施することで、特定健診受診率の向上を目的とする。									
対象者		特定健診受診対象者全員及び前年度未受診者									
今後の目標値	指標	評価指標 (項目)	目標値	計画当時実績				中間評価年度			最終評価年度
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
			R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
	アウトカム (成果)指標	特定健診 受診率の向上	60.0%	53.4% (1,093人)	54% (1104人)	55% (1124人)	56% (1145人)	57% (1165人)	58% (1186人)	59% (1206人)	60% (1227人)
	アウトプット (実施量・率)指標	健診リピーター 率の増加	毎年 0.5%増	86.4% (914人)	87% (920人)	87.5% (925人)	88% (931人)	88.5% (936人)	89% (941人)	89.5% (946人)	90% (952人)
事業内容	ストラクチャー (実施体制)	①国保部門と衛生部門の庁内連携を図るための打合せを行い、年間スケジュール、予算、役割分担の確認、庁内実施体制を整備する。 ②健診日程について広報・HPに掲載し、受診勧奨を図る。 ③医療機関及び健診委託機関と連携し健診リピーター率の向上を図る。 ④健診未受診者の対象者を把握し、アプローチ方法を検討する。									
	プロセス (実施方法)	①健診の普及啓発として、健康増進事業と併せて健診受診勧奨をPR、広報活動、各種保健事業及び地区組織団体(保健協力員、健幸アンバサダー、老人クラブ等)を活用した受診勧奨チラシの配布や受診の呼びかけ、健診の重要性について周知を行う。 ②みなし健診を受診している対象者に対し、健診結果の提出を依頼する。 ③健診未受診者に対し、ハガキや電話・訪問にて受診勧奨を行う。 ④がん検診との同時実施や休日健診及び追加健診の日程を設定し、受診しやすい体制づくり。 ⑤SNSを活用した周知やweb予約の導入、施設健診実施日数を分散して設ける等、若年層の受診率向上に対する体制整備を行う。									

(2) 特定保健指導事業

事業の目的		特定保健指導対象者が自らの身体状況を理解し、生活習慣の振り返りと改善が図られるよう保健指導率の向上を図り、メタボ該当者及びメタボ予備群を減少させることを目的とする。									
対象者		特定保健指導対象者(動機づけ支援・積極的支援・メタボ該当者及びメタボ予備群)									
今後の目標値	指標	評価指標 (項目)	目標値	計画当時実績				中間評価年度			最終評価年度
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム (成果)指標	特定保健指導 終了率の向上	60.0%	56.0% (75人)	56.5% (76人)	57% (77人)	57.5% (77人)	58% (78人)	58.5% (78人)	59% (79人)	60% (80人)
		メタボ該当者・ 予備群割合の 減少	30.0%	35.4% (438人)	35% (432人)	34.5% (426人)	34% (420人)	33% (408人)	32% (395人)	31% (383人)	30% (371人)
事業内容	アウトプット (実施量・ 率)	健診当日の 初回面接 実施率の増加	毎年 0.5%増	58.2% (78人)	59% (79人)	59.5% (79人)	60% (80人)	60.5% (81人)	61% (81人)	61.5% (82人)	62% (83人)
	ストラクチャー (実施体制)	①健診委託機関と連携を図り、健診会場における初回面接(保健指導)ができる体制整備。 ②国保部門・健康増進部門と十分な協議を図り、実施体制を整備し、保健指導は(保健師:4名、管理栄養士:2名)体制にて行う。 ③医療機関及び健診委託機関と連携した取組みの実施。 ④健診結果説明会や二次検査(血液検査・頸動脈超音波検査)、各種教室の開催。 ⑤訪問指導やSNSやメールを活用した案内・保健指導の検討。 ⑥福島県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会を活用した事業内容の評価及び課題の検討。									
事業内容	プロセス (実施方法)	①外部専門職への依頼も含めた十分な人員体制を確保し、健診会場又は健診結果説明会において、前年度特定保健指導対象者及びメタボ該当者・予備群対象者に保健指導を実施し、医療機関受診を要する対象者を早期治療につなげる。 ②管理台帳及びカルテを作成し、保健指導の内容・受診状況等を把握する。 ③健診当日の初回面接に効果的な保健指導を実施するため、対象者の経年的健診結果を提示、指導用教材の作成。 ④対象者の背景要因をふまえ、対象者に応じた保健指導の実施。 ⑤二次検査の機会を活用した保健指導。 ⑥次年度の健診会場において、最終評価を実施する。									

(3)生活習慣病重症化予防事業

事業の目的		生活習慣病のリスクがある対象者が自らの身体状況を理解し、生活習慣の振り返りと改善が図られ、医療受診を要する対象者を早期に医療機関へつなげることで、受診勧奨判定値対象者の重症化予防を図る。									
対象者		1 高血圧:Ⅱ度以上 2 脂質異常症:LDL-C 160以上 3 中性脂肪300以上 4 心房細動有所見者									
今後の目標値	指標	評価指標 (項目)	目標値	計画当時実績				中間評価年度			最終評価年度
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム (成果)指標	Ⅱ度高血圧以上 対象者割合の減少	R4比 10%減	3.3% (41人)	3.25% (40人)	3.2% (39人)	3.15% (38人)	3.1% (38人)	3.05% (37人)	3% (37人)	2.97% (36人)
		LDL-C160mg/dl 以上者割合の減少	R4比 10%減	5.6% (69人)	5.5% (68人)	5.4% (66人)	5.35% (66人)	5.3% (65人)	5.25% (64人)	5.2% (64人)	5.1% (63人)
		中性脂肪 300mg/dl 以上者割合の減少	R4比 10%減	2.0% (25人)	1.97% (24人)	1.94% (23人)	1.91% (23人)	1.88% (23人)	1.85% (22人)	1.82% (22人)	1.8% (22人)
		心房細動有所見 者 割合の減少	R4比 10%減	1.1% (14人)	1.08% (13人)	1.07% (13人)	1.05% (12人)	1.04% (12人)	1.02% (12人)	1.01% (12人)	0.99% (12人)
	アウトプット (実施量・率)	重症化予防保健指導実施率の増加	毎年 1%増	42.4% (100人)	44% (103人)	45% (106人)	46% (108人)	47% (110人)	48% (113人)	49% (115人)	50% (118人)
事業内容	ストラクチャー (実施体制)	①健診委託機関と連携を図り、健診会場における保健指導ができる体制整備。 ②医療機関及び健診委託機関と連携した取組みの実施。 ③国保部門・健康増進部門と十分な協議を図り、実施体制を整備し、保健指導は(保健師:4名、管理栄養士:2名)体制にて行う。 ④健診結果説明会や高血圧予防教室の開催。 ⑤訪問指導やSNSやメールを活用した案内・保健指導の検討。 ⑥福島県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会を活用した事業内容の評価及び課題の検討。									
	プロセス (実施方法)	①外部専門職への依頼も含めた十分な人員の確保を行い、健診会場又は健診結果説明会にて前年度対象者に対し、保健指導を実施する。 ②管理台帳及びカルテを作成し、保健指導の内容・受診状況等を把握する。 ③受診結果返却ハガキ及びレセプト情報より把握した未治療者に対し、電話や訪問、文書による受診勧奨を行う。 ④高血圧予防教室を開催し、疾病や重症化予防に向けた生活習慣の改善、受診勧奨を行う。 ⑤保健指導実施の結果、治療中断者に対しては医療機関と連携した受診勧奨及び保健指導を実施する。 ⑥慢性腎臓病の対象者へは「CKD精密検査依頼書」を送付し、医療機関と連携した保健指導を行う。									

(4)糖尿病性腎症重症化予防事業

事業の目的		人工透析の原因の要因となっている糖尿病性腎症の医療費の伸びを抑制するため、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・コントロール不良者の重症化予防を図る。									
対象者		1 医療機関未治療者・中断者・コントロール不良者 空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上またはHbA1c6.5%以上の者 2 慢性腎臓病 eGFR45未満または、尿蛋白+以上者									
今後の目標値	指標	評価指標 (項目)	目標値	計画当時実績				中間評価年度			最終評価年度
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	アウトカム (成果)指標	HbA1c6.5%以上の未治療者割合の減少	R4比 10%減	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
				1.3% (16人)	1.27% (15人)	1.25% (15人)	1.23% (15人)	1.2% (14人)	1.19% (14人)	1.18% (14人)	1.17% (14人)
		HbA1c7.0%以上の治療者割合の減少	R4比 10%減	4.0% (49人)	3.95% (48人)	3.9% (48人)	3.85% (47人)	3.8% (47人)	3.75% (46人)	3.7% (45人)	3.65% (45人)
		尿蛋白+以上者割合の減少	R4比 10%減	1.9% (23人)	1.87% (23人)	1.84% (22人)	1.81% (22人)	1.78% (22人)	1.75% (21人)	1.72% (21人)	1.7% (21人)
		eGFR45未満(70歳以上40未満)の未治療者割合の減少	R4比 10%減	1.1% (14人)	1.08% (13人)	1.07% (13人)	1.05% (12人)	1.04% (12人)	1.02% (12人)	1.01% (12人)	0.99% (12人)
事業内容	アウトプット (実施量・率)指標	未治療者の医療機関受診率の向上	70.0%	65.1% (28人)	65.8% (28人)	66.6% (28人)	67.2% (29人)	68% (29人)	68.7% (29人)	69.5% (30人)	70% (30人)
		重症化予防保健指導率の上昇	毎年 0.5% 増	68.8% (55人)	69% (56人)	69.5% (56人)	70% (56人)	70.5% (57人)	71% (57人)	71.5% (58人)	72% (58人)
事業内容	ストラクチャー (実施体制)	①健診委託機関と連携を図り、健診会場における保健指導ができる体制整備。 ②国保部門・健康増進部門と十分な協議を図り、実施体制を整備し、保健指導は(保健師:4名、管理栄養士:2名)体制にて行う。 ③医療機関及び健診委託機関と連携した取組みの実施。 ④糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づいた保健指導の実施。 ⑤健診結果説明会や糖尿病予防教室の開催。 ⑥訪問指導やSNSやメールを活用した案内・保健指導の検討。 ⑦福島県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会を活用した事業内容の評価及び課題の検討。									
	プロセス (実施方法)	①外部専門職への依頼も含めた十分な人員の確保を行い、健診会場又は健診結果説明会にて前年度対象者に対し、個別を重視した保健指導を行う。 ②保健指導対象者を選定し管理台帳及びカルテを作成し、保健指導の内容・受診状況等を把握する。 ③受診結果返却ハガキ及びレセプト情報より把握した未治療者に対し、電話や訪問、文書による受診勧奨を行う。 ④レセプト情報及び糖尿病治療中断者リストにより、保健指導実施者の医療機関受診状況を確認し、中断者への訪問又は電話による状況把握を行う。 ⑤糖尿病性腎症連絡票や糖尿病連携手帳を活用して、かかりつけ医と連携した保健指導及び栄養指導を実施する。									

X. 特定健康診査等実施計画

1. 第四期特定健診等実施計画について

棚倉町は、高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき、特定健康診査等基本指針（以下「基本指針」）に即して、特定健康診査等実施計画（以下「実施計画」）を定めることとされている。

本計画は、第三期計画の計画期間の終了に伴い、国の方針を踏まえて、特定健診・特定保健指導の実施にあたり、規模、被保険者の年齢構成、保健事業の体制・人材等リソース、地域的条件等を考慮し、あらかじめ実施率目標や実施方法を定めることで、事業を効率的・効果的に実施し、その実施状況の評価ができることを目的に策定する。

第四期計画期間は令和6年から令和11年までの6年間とする。

2. 目標値の設定

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
特定健康診査実施率	55%	56%	57%	58%	59%	60%
特定保健指導実施率	57%	57.5%	58%	58.5%	59%	60%

3. 特定健康診査・特定保健指導 対象者・受診者（見込み）

		2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
		令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
特定健康診査 実施対象者	対象者数	2045人	2045人	2045人	2045人	2045人	2045人
	受診者数	1124人	1145人	1165人	1186人	1206人	1227人
特定保健指導 実施対象者	対象者数	134人	134人	134人	134人	134人	134人
	受診者数	77人	77人	78人	78人	79人	80人

4. 特定健康診査の実施

①実施場所

	場所	実施機関
集団健診	棚倉町保健福祉センター、町内公共施設	棚倉町 福島県保健衛生協会
個別健診	委託契約を結んだ医療機関	塙厚生病院

②実施項目

(法令で定められている項目)

特定健康診査 検査項目「円滑な実施に向けた手引き」

	項目名	高齢者医療確保法
	既往歴	○
	服薬歴	○
	喫煙歴	○
	業務歴	
	自覚症状	○
	他覚症状	○
身体計測	身長	○
	体重	○
	腹囲	○
	BMI	○
血圧	血圧(収縮期/拡張期)	○
肝機能検査	AST(GOT)	○
	ALT(GPT)	○
	γ-GT(γ-GTP)	○
血中脂質検査	空腹時中性脂肪	●
	随時中性脂肪	●
	HDLコレステロール	○
	LDLコレステロール	○
	(Non-HDL コレステロール)	
血糖検査	空腹時血糖	●
	HbA1c	●
	随時血糖	●
尿検査	尿糖	○
	尿蛋白	○
血液学検査 (貧血検査)	ヘマトクリット値	□
	血色素量[ヘモグロビン値]	□
	赤血球数	□
その他	心電図	□
	眼底検査	□
	血清クレアチニン(eGFR)	□
	視力	
	聴力	
	胸部エックス線検査	
	喀痰検査	
	胃の疾病及び異常の有無	
医師の判断	医師の診断(判定)	○
	医師の意見	

○…必須項目、□…医師の判断に基づき選択的に実施する項目、●…いずれかの項目の実施で可

特定健康診査 追加検査項目

	項目名	高齢者医療確保法
その他	心電図検査	
	眼底検査	
	貧血検査	
	尿酸値検査	
	尿中微量アルブミン検査(2年に1回)	

③実施時期・期間

集団健診…毎年6月から7月

個別健診…毎年12月から翌年3月

④周知方法

- ・健診案内及び受診券の送付
- ・広報による健診内容の掲載
- ・健診当日の防災無線による周知
- ・健診未受診者への受診勧奨ハガキの送付

⑤代行機関

特定健診に係る費用の請求・支払いの代行は福島県国保連合会に委託する。

⑥実施スケジュール

図1 特定健診・特定保健指導 年間実施スケジュールのとおり

5. 特定保健指導の実施

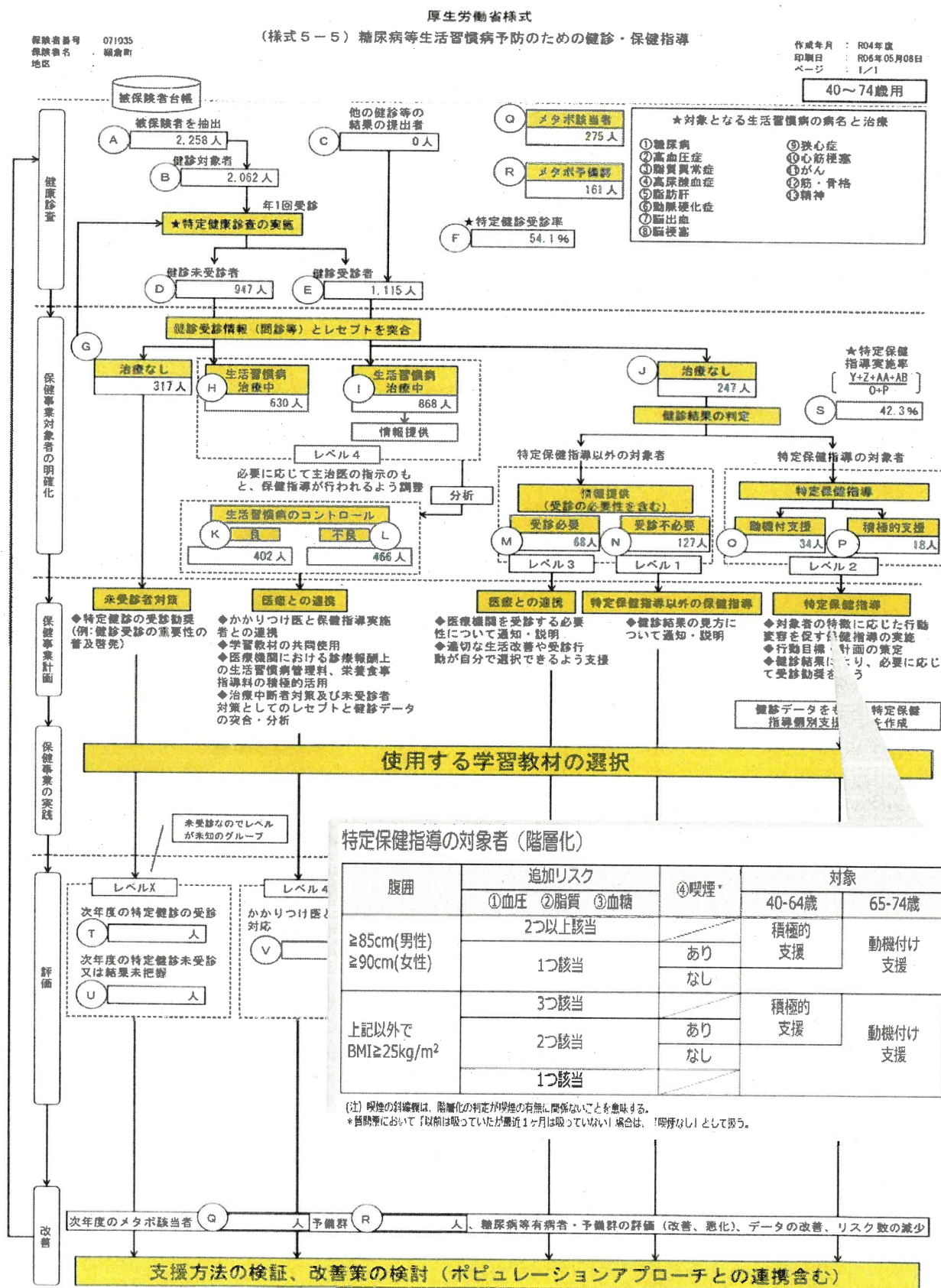
①実施形態

特定保健指導の実施については、保健衛生部門へ執行委任の形態で行う。

②健診から保健指導の実施の流れ

「標準的な健診・保健指導プログラム(令和6年度版)様式5-5をもとに、健診結果から保健指導対象者の明確化、保健指導計画の策定・実践評価を行う。

特定保健指導対象者抽出の流れ



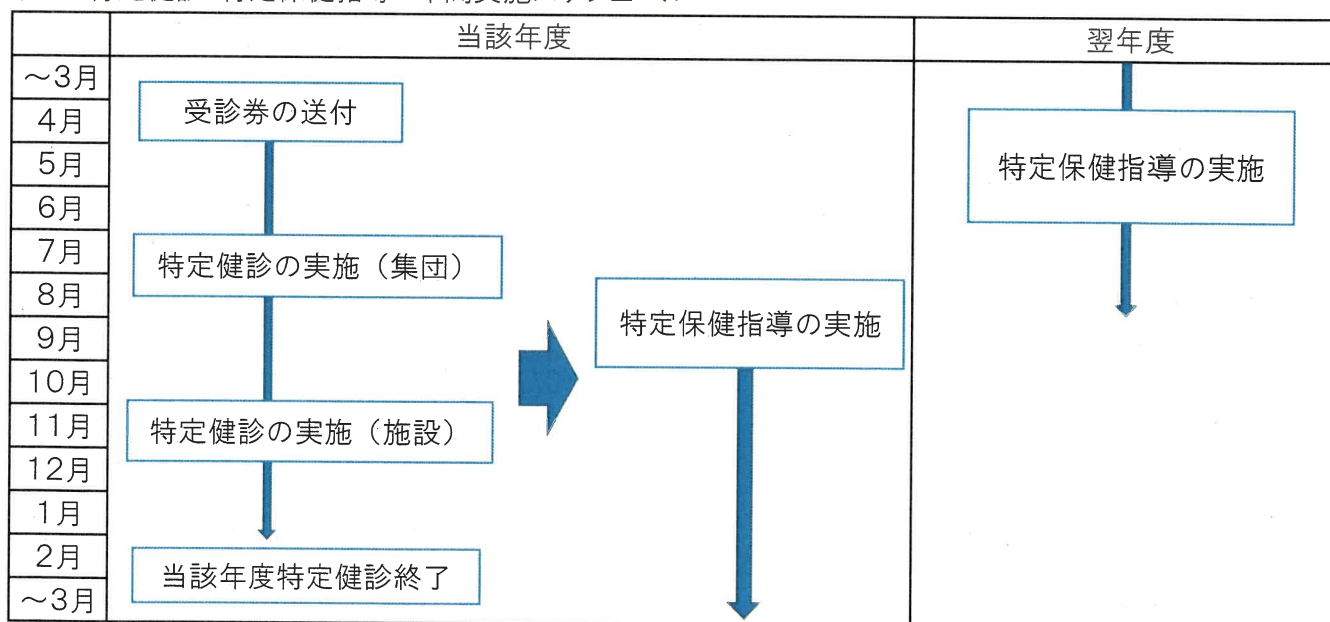
③保健指導対象者の見込み、優先順位及び支援方法

優先 順位	保健指導レベル	様式 5-5	支援方法	対象者数 見込み (受診者の 〇%)	目標実施率
1	特定保健指導 O:動機付け支援 P:積極的支援	OP	◆対象者の特徴に応じた行動変容を促す保健指導の実施 ◆行動目標・計画の策定 ◆健診結果により、必要に応じて受診勧奨を行う	80人 (6.5%)	特定保健指導率 60%
2	情報提供 (受診必要)	M	◆医療機関を受診する必要性について説明 ◆適切な生活改善や受療行動が自分で選択できるよう支援	68人 (6.1%)	重症化予防保健指導 実施率の増加62%
3	情報提供	I (L) (K)	◆かかりつけ医と保健指導実施者との連携	868人 (77.8%)	重症化予防保健指導 実施率の増加62%
4	健診未受診者	D	◆ハガキ等による特定健診の受診勧奨	947人 (健診対象者)	受診勧奨率100%
5	情報提供	N	◆健診結果の見方について説明	127人 (11.3%)	

④実施スケジュール

図1のとおり

図1 特定健診・特定保健指導 年間実施スケジュール



6. 個人情報の保護

(1) 記録の保存方法

特定健診・特定保健指導の実施結果の保存にあたっては、「円滑な実施に向けた手引き」を参考に、個人の健康情報を漏えいしないよう、厳格に管理したうえで適切に活用する。

特定健診・特定保健指導のデータは、本人の健康管理や効果的な保健指導、加入者全体の経年変化等の分析、中長期的な発症予測等への活用等の観点から、保存期間は最低5年とする。

(2) 外部委託

外部委託をする場合には個人情報の厳格な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の契約遵守状況を管理する。

7. 計画の公表・周知

計画については、高齢者の医療の確保に関する法律第19条第3項に基づき、実施計画を作成・変更時は遅滞無く公表することが義務付けられているため、ホームページ等により公表し、広く内容等の周知を行う。

XI. 計画の評価・見直し

1. 評価の時期

本計画の目的及び目標の達成状況については、設定した評価指標に基づき、毎年度評価を行うこととする。また、中間時点の令和8年度に中間評価を実施し、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度の令和11年度において、最終評価を実施する。

2. 評価方法・体制

○ 計画は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期では評価の難しいアウトカム(成果)指標を中心とした評価指標による評価を行う。

【例】特定保健指導に4指標を位置付けてみると

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ○アウトカム指標 | :メタボ該当者・予備群割合の減少(目標値 30%) |
| ○アウトプット指標 | :特定保健指導実施率(目標値 60%以上) |
| ○プロセス | :初回面接実施率の増加(目標値 62%) |
| ○ストラクチャー | :健診当日面接可能な職員・委託職員の実施体制の構築 |

XII. 計画の公表・周知

計画は、被保険者や保健医療関係者等が容易に知り得るものとすることが重要であるため、国指針に基づき公表する。具体的には、ホームページや広報誌を通じた周知のほか、都道府県、国保連、保健医療関係者経由で医療機関等に周知する。

XIII. 個人情報の取扱い

○ 計画策定にあたっては、個人情報の保護に関する各種法令・ガイドラインに基づき、庁内等での利用、外部委託事業者への業務委託等の各場面で、その保有する個人情報の適切な取り扱いが確保されるよう措置を講じる。

XIV. 地域包括ケアに係る取り組み

○ 高齢者の特性を踏まえ、KDBシステムを活用し、課題分析を行い、関係者と課題を共有するとともに、医療・介護・予防・住まい・生活支援など暮らし全般を支えるための課題について地域ケア会議等に参加する。

項目			平成28年		令和04年（健診のみ令和03年）								データ元 (CSV)			
			保険者				同規模		県		国					
			実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合				
1	①	人口構成	総人口		14,990		13,260		1,808,758		1,799,218		123,214,261		KDB_NO.5 人口の状況 KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地 域の健康課題	
			65歳以上（高齢化率）		3,739	24.9	4,258	32.1	36.9		572,825	31.8	35,335,805	28.7		
			75歳以上		2,093	14.0	2,201	16.6			291,055	16.2	18,248,742	14.8		
			65～74歳		1,646	11.0	2,057	15.5			281,770	15.7	17,087,063	13.9		
			40～64歳		5,061	33.8	4,309	32.5			603,355	33.5	41,545,893	33.7		
	39歳以下		6,190	41.3	4,693	35.4			623,038	34.6	46,332,563	37.6				
	②	人口動態	自然動態	出生	103		74				9,804				福島県現住 人口調査年報	
				死亡	221		237				27,351					
				増減	-118		-163				-17,547					
			社会動態	転入	452		408				53,558					
転出		539		459				58,677								
③	産業構成	第1次産業	6.5		10.2		13.4		6.7		4.0		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地 域の健康課題			
		第2次産業	43.3		41.8		27.1		30.6		25.0					
		第3次産業	50.2		48.0		59.5		62.6		71.0					
④	平均余命	男性	79.3		79.3		81.0		80.7		81.7		KDB_NO.1 地域全体像の把握			
		女性	87.7		86.5		87.1		86.9		87.8					
⑤	平均自立期間	男性	77.8		78.0		79.5		79.1		80.1		KDB_NO.1 地域全体像の把握			
		女性	84.3		83.2		83.9		83.6		84.4					
2	①	死亡の状況	標準化死亡比 (SMR)	男性	105.0		109.7		103.9		105.4		100.0		KDB_NO.1 地域全体像の把握	
				女性	108.5		102.9		101.5		106.2		100.0			
			死因	がん	50	42.0	40	41.7	7,103	46.7	6,259	46.8	378,272	50.6		
				心臓病	32	26.9	29	30.2	4,457	29.3	3,839	28.7	205,485	27.5		
				脳疾患	29	24.4	17	17.7	2,405	15.8	2,164	16.2	102,900	13.8		
				糖尿病	1	0.8	2	2.1	309	2.0	309	2.3	13,896	1.9		
				腎不全	3	2.5	2	2.1	582	3.8	457	3.4	26,946	3.6		
				自殺	4	3.4	6	6.3	356	2.3	357	2.7	20,171	2.7		
	②	早世予防から みた死亡 (65歳未満)	合計							2,273		0.09		128,934	0.08	厚労省HP 人口動態調査
			男性							1,573		0.13		84,815	0.11	
		女性							700		0.06		44,119	0.06		
3	①	介護保険	1号認定者数（認定率）	667	18.2	712	17.1	123,092	18.6	114,440	20.1	6,724,030	19.4	KDB_NO.1 地域全体像の把握		
			新規認定者	15	0.3	8	0.2	2,019	0.3	1,796	0.3	110,289	0.3			
			2号認定者	25	0.5	13	0.3	2,178	0.4	2,880	0.5	156,107	0.4			
	②	介護給付費	介護給付費	1,157,452,042		1,299,079,827		202,389,376,142		172,706,094,600		10,074,274,226,869				
			1件当たり給付費（全体）	75,159		77,585		72,528		65,863		59,662				
			居宅サービス	40,762		41,800		44,391		42,089		41,272				
施設サービス		272,179		297,969		291,231		294,067		296,364						
4	①	国保の状況	被保険者数	3,338		2,721				381,897		27,488,882		KDB_NO.1 地域全体像の把握 KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地 域の健康課題 KDB_NO.5 被保険者の状況		
			65～74歳	1,355	40.6	1,471	54.1			191,020	50.0	11,129,271	40.5			
			40～64歳	1,246	37.3	787	28.9			116,350	30.5	9,088,015	33.1			
			39歳以下	737	22.1	463	17.0			74,527	19.5	7,271,596	26.5			
			加入率	22.3		20.5		24.3		21.2		22.3				
	②	医療の概況 (人口千対)	病院数	0	0.0	0	0.0	139	0.3	125	0.3	8,237	0.3			
			診療所数	8	2.4	9	3.3	1,177	2.7	1,325	3.5	102,599	3.7			
			病床数	0	0.0	0	0.0	17,962	40.8	24,328	63.7	1,507,471	54.8			
			医師数	9	2.7	10	3.7	2,218	5.0	3,958	10.4	339,611	12.4			
			外来患者数	654.9		684.6		708.1		736.8		687.8				
入院患者数	20.9		18.3		22.2		19.6		17.7							
5	③	医療費の状況	国保総医療費	1,016,479,400		859,519,340		166,665,437,910		135,455,411,470		9,337,411,479,190		KDB_NO.1 地域全体像の把握 KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地 域の健康課題		
			外来	費用	600,569,720	59.1	526,256,000	61.2	95,063,561,790	57.0	81,604,475,610	60.2	5,640,788,130,120		60.4	
				件数	26,753	96.9	22,890	97.4	3,849,941	97.0	3,477,204	97.4	232,932,821		97.5	
			入院	費用	415,909,680	40.9	333,263,340	38.8	71,601,876,120	43.0	53,850,935,860	39.8	3,696,643,349,070		39.6	
				件数	852	3.1	611	2.6	120,881	3.0	92,692	2.6	5,982,149		2.5	
			一人当たり医療費	24,884		25,707		30,653		28,703		27,570				
			受診率	675.80		702.89		730.30		756.47		705.44				
			入院	20.86		18.27		22.23		19.64		17.66				
			入院外	654.94		684.61		708.07		736.83		687.78				
			1件あたり在院日数	14.6日		13.4日		16.7日		15.9日		15.7日				
④	歯科医療費の 状況	一人当たり医療費	1,447		1,797		2,021		2,014		2,156					
		受診率	108.38		136.74		148.11		151.23		161.45					
6	⑤	特定健診の 状況	健診受診者	1,124		1,118		142,868		124,882		7,049,775		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地 域の健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握		
			受診率	47.2	県内29位 同規模48位	51.5	県内24位 同規模31位	44.0		42.3		36.1				
			特定保健指導終了者（実施率）	43	31.6	95	72.0	7,548	43.6	4,678	33.4	206,955	24.0			
			受診勧奨者率	60.2		60.1		59.5		57.0		58.8				
			非肥満高血糖	121	10.8	125	11.2	15,566	10.9	11,631	9.3	641,898	9.1			
			メタボ	該当者	231	20.6	274	24.5	30,475	21.3	28,432	22.8	1,431,674		20.3	
				男性	168	32.7	189	35.1	21,217	32.0	19,145	34.2	995,795		32.1	
				女性	63	10.3	85	14.7	9,258	12.1	9,287	13.5	435,879		11.0	
				予備群	131	11.7	166	14.8	16,183	11.3	15,251	12.2	803,204		11.4	
			男性	87	16.9	111	20.6	11,363	17.1	10,282	18.4	562,548	18.1			
女性	44	7.2	55	9.5	4,820	6.3	4,969	7.2	240,656	6.1						